

工 事 番 号	部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和2年度		<p style="text-align: center;">急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）</p> <p>急傾斜地崩壊対策事業</p> <p>三原市 深町</p> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px;">県費補助</span> <span style="border: 2px solid red; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-left: 20px;">仕様書</span> </div>			
施工月日	令和	年 月 日				
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
施工延長 L=20.2m  鉄筋挿入工                    41本 ネット系待受工(基礎)       28本 グランドプレート工       10基						

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節

#### 適用

1 本特記仕様書は、三原市深町 急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）に適用する。

2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・**土木工事共通仕様書（令和元年8月）広島県**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・その他関連規格類

### 第2節

#### 情報共有システム

1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。

5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第2章 施工条件

### 第1節

#### 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容

残土・資材運搬

時期

全工事期間

時間

9：00～15：00（作業可能時間）

施工方法・理由

搬入路が通学路であるため、登下校時間は工事用車両の通行を行わないこと。

### 第2節

#### 用地

1 現場の復旧

原形復旧とする。

### 第3節

#### 公害対策

1 公害防止

施工方法

削孔作業において、小学校が隣接しているため低騒音型機械の使用、また、防音シートを設置するなど騒音対策に努めること。

建設機械・設備

低騒音型機械・防音シート等

作業時間

10時～15時

- 2 事前・事後調査  
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。  
調査区分 (設計変更の対象とする。)  
調査時期 施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)  
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

#### 第4節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員  
資機材等搬入時に交通誘導員を1(人/日)見込んでいる。

#### 第5節 建設副産物

- 1 建設発生土(搬出)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

- 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外(建設工事現場以外の場所)において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 第6節 その他

- 1 工所用機資材の仮置き  
場所 受注者が責任をもって確保すること。  
なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。
- 2 関係機関・自治体との近接協議  
内容 工事内容や施工時間について、事前に深小学校及び深放課後児童クラブと協議を行うこと
- 3 新技術・新工法・特許工法の指定 ネット系待受工について、次のとおり施工すること。  
内容 斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受け工として、建設技術審査証明事業(砂防技術)実施要領に基づき、(財)砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

#### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
斜面对策		式	1	レベル1
砂防土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂 現場制約あり	m3	10	レベル4
掘削	軟岩 現場制約あり	m3	4	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
法面工		式	1	レベル2
抑止アンカー工		式	1	レベル3
鉄筋挿入工	現場条件	本	41	レベル4
ネット系待受工		式	1	レベル2
ネット系待受工		式	1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式	1	レベル4
足場工		空m3	430	レベル4
支柱基礎反力体設置工	全ねじ異形鋼棒 D32 SD490	本	20	レベル4
リテイニングロープアンカー工	ダウンスロープアンカー含む	本	3	レベル4
サポートロープアンカー工	増設アンカー含む	本	5	レベル4
グランドプレート設置工	GP-1-1B	基	10	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
反力体材料費		式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋 機械	m3	17	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	17	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	17	レベル4
斜面对策付属物設置工		式	1	レベル2
防止柵工		式	1	レベル3
支柱・金網(フェンス)(立入防止柵)	<丸パイプ型>垂鉛めっき H1500	m	23	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	5	レベル4
<b>** 直接工事費 **</b>				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
木根等処分費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-02.07.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
砂防土工	1	式			Y1D0301 レベル2
掘削工	1	式			Y1D030101 レベル3
掘削 土砂 現場制約あり	10	m3			Y1D03010101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり	10	m3			SPK19040001 00 単第0 -0001 表
掘削 軟岩 現場制約あり	4	m3			Y1D03010101 レベル4
掘削 軟岩 現場制約あり 軟岩(I)	4	m3			SPK19040001 00 単第0 -0002 表
残土処理工	1	式			Y1D030109 レベル3



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 土砂	20	m3			Y1D03010902 レベル4
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.5km以下(5.0km超)	20	m3			SPK19040002 00  単第0 -0003 表
残土等処分	20	m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料	20	m3			W0001
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2
抑止アンカー工	1	式			Y1D030306 レベル3
鉄筋挿入工 現場条件	41	本			Y4999 レベル4
鉄筋挿入工 現場条件I [規]100m以上200m未満	41	本			SS000259 00  単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ネット系待受工					Y1D0304 レベル2
	1	式			
ネット系待受工					Y1D030408 レベル3
	1	式			
資機材搬入・搬出工					Y4999 レベル4
	1	式			
資機材搬入・搬出工					V0001 00
	1	日			単第0 -0006 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音					KR006015 00
	1	日			
足場工					Y4999 レベル4
	430	空m3			
足場工					V0002 00
	430	空m3			単第0 -0007 表
支柱基礎反力体設置工 全ねじ異形鋼棒 D32 SD490					Y4999 レベル4
	20	本			
削孔工 115 二重管エア-削孔 レキ質土					V0010 00
	26.0	m			単第0 -0008 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔工 115 二重管エア-削孔 軟岩	56.0	m			V0011 00 単第0 -0009 表
注入打設工 W/C = 50%	2.72	m <sup>3</sup>			V0016 00 単第0 -0010 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼棒相当 設計荷重 400KN未満	12	本			V0014 00 単第0 -0011 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼棒相当 設計荷重 400KN以上1300KN未満	8	本			V0015 00 単第0 -0012 表
耐荷試験工 支柱基礎反力体	20	本			V0017 00 単第0 -0013 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V0020 00 単第0 -0014 表
リテイニングロープアンカー工 ダウンスロープアンカー含む	3	本			Y4999 レベル4
削孔工 115 二重管エア-削孔 レキ質土	3.5	m			V0010 00 単第0 -0008 表
削孔工 115 二重管エア-削孔 軟岩	8.0	m			V0011 00 単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入打設工 W/C = 50%	0.38	m3			V0016 00 単第0 -0010 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼線より線 設計荷重 400KN未満	2	本			V0012 00 単第0 -0015 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼線より線 設計荷重 400KN以上1300KN未満	1	本			V0013 00 単第0 -0016 表
耐荷試験工 山側・谷側反力体	3	本			V0018 00 単第0 -0017 表
ボーリングマシン移設工	2	回			V0020 00 単第0 -0014 表
サポートロープアンカー工 増設アンカー含む	5	本			Y4999 レベル4
削孔工 115 二重管エア-削孔 レキ質土	5.5	m			V0010 00 単第0 -0008 表
削孔工 115 二重管エア-削孔 軟岩	17.0	m			V0011 00 単第0 -0009 表
注入打設工 W/C = 50%	0.75	m3			V0016 00 単第0 -0010 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼線より線 設計荷重 400KN未満	4	本			V0012 00 単第0 -0015 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 PC鋼線より線 設計荷重 400KN以上1300KN未満	1	本			V0013 00 単第0 -0016 表
耐荷試験工 横反力体	5	本			V0019 00 単第0 -0018 表
ボーリングマシン移設工	2	回			V0020 00 単第0 -0014 表
グラウンドプレート設置工 GP-1-IB	10	基			Y4999 レベル4
グラウンドプレート設置工	10	基			V0021 00 単第0 -0019 表
反力体材料費	1	式			Y4999 レベル4
反力体材料	1	式			V0030 00 単第0 -0020 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0111 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工					Y1E011105 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 無筋 機械					Y1E01110501 レベル4
	17	m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物)					SDT00031 00
	17	m3			単第0 -0021 表
運搬処理工					Y1E0111115 レベル3
	1	式			
殻運搬 コンクリート殻					Y1E01111501 レベル4
	17	m3			
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(14.0km超)					SPK19040148 00
	17	m3			単第0 -0022 表
殻処分 コンクリート殻					Y1E01111502 レベル4
	17	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 コンクリート殻					W0001
	40	t			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
斜面对策付属物設置工					Y1D0309 レベル2
	1	式			
防止柵工					Y1E020702 レベル3
	1	式			
支柱・金網(フェンス)(立入防止柵) <丸パイプ型>亜鉛めっき H1500					Y1E02070202 レベル4
	23	m			
金網・支柱(立入防止柵) 支柱間隔1.5m 基礎ブロック					SPK19040254 00
	23	m			単第0 -0023 表
金網・支柱(立入防止柵)撤去 支柱間隔1.5m 基礎ブロック					V0100 00
	23	m			単第0 -0024 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	5	人			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	5	人			
<b>**直接工事費**</b> #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
木根等処分費					YZZ05001001 レベル4
	1	式			
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)					SPK19040177 00
	300	m2			単第0 -0025 表
集積(人力施工)(伐木除根)					SPK19040181 00
	300	m2			単第0 -0026 表
運搬(伐木除根) 人力施工 DID区間有り 距離18.0km以下(14.5km超)					SPK19040183 00
	300	m2			単第0 -0027 表



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【準備費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0047
投棄料	95	m3			W0001
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....			率補正率.....		
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
<b>契約保証費</b> 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
<b>一般管理費計</b>					
<b>**工事価格**</b>					
<b>**消費税相当額**</b> 計算情報..... 対象額..... 率.....					
<b>**工事費計**</b>					
<b>**契約保証費計**</b>					



# 施工単価表

掘削  
軟岩 現場制約あり  
機械構成比: 2.46%

SPK19040001

単第0 -0002 表

軟岩(1)

労務構成比: 95.95%

材料構成比: 1.59%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m3 当り  
9,116.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量5.0m3/min圧力0.7MPa	1.98%		空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量5.0m3/min圧力0.7MPa		MTPC00059 MTPT00059
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.46%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	66.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	28.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.58%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK19040002

単第0 -0003 表

現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.5km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.75% 労務構成比:

69.90% 材料構成比: 9.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,515.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.35%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 現場制約あり C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=30 距離6.5km以下(5.0km超)			B=7 人力 D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

鉄筋挿入工  
現場条件I

SS000259  
[規]100m以上200m未満

単第0 -0004 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋挿入工 現場条件1【手間のみ】 削孔時足場：なし	3.600	m			TSD00009
異形棒鋼ロックボルト D25,SD345(めっき付き)	4.000	m			T230E007
角座金 150×150×9mm, 45(めっき付き)	1.000	枚			T230E009
ワッシャー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	1.000	個			T230E011
スペーサー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	2.000	個			T230E013
ナット D25用(めっき付き)	1.000	個			T230E019
頭部キャップ 防錆材含む	1.000	個			T230E021
グラウト注入材	0.017	m3			SSL00259 単第0-0005 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 現場条件I D=4 鋼材の長さ(m) F=3.6 削孔長(m/本)			B=3 異形棒鋼ロックボルト_D25,SD345 E=65 削孔径(mm) G=1 角座金(めっき付)		
I=1 ワッシャー(めっき付) M=1 ナット(めっき付) Q=3 材料別途			K=1 スペーサー(めっき付) O=1 頭部キャップ(防錆材含む) S=1 -		









# 施工単価表

足場工

V0002

単第0 -0007 表

頁0 -0021

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.10	人			R0250
とび工	6.20	人			R0060
普通作業員	3.90	人			R0020
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.4	日			KR006015
諸雑費	20	%			#01
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			

100 空m3 当り

# 施工単価表

頁0 -0022

削孔工

V0010

単第0 -0008 表

115 二重管エア-削孔

レキ質土

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			R0250
特殊作業員	0.86	人			R0010
普通作業員	1.72	人			R0020
ボーリングマシン ロータリパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.86	日			MTPC00069
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	0.86	日			MJ137
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.04	本			K2701
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.03	個			K2729
エキステンションロッド 118mm アンカー用	0.04	個			K2733
ドリルパイプ 118mm,1.0m アンカー用	0.20	本			K2782
インナーロッド 118mm,1.0m アンカー用	0.22	本			K2788
リングビット 118mm アンカー用	0.20	個			K2717
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			K2749



# 施工単価表

削孔工

V0011

単第0 -0009 表

115 二重管エア-削孔

軟岩

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			R0250
特殊作業員	1.00	人			R0010
普通作業員	2.00	人			R0020
ボーリングマシン ロータリパーカッション式・スキッド型 55kW級	1.00	日			MTPC00069
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出力10.5~11m <sup>3</sup> /min圧力0.7MPa	1.00	日			MJ137
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.05	本			K2701
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.04	個			K2729
エキステンションロッド 118mm アンカー用	0.05	個			K2733
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.29	本			K2782
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.34	本			K2788
リングビット 118mm アンカー用	0.24	個			K2717
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			K2749



# 施工単価表

注入打設工  
W/C = 50%

V0016

単第0 -0010 表

頁0 -0026

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	17.00	人			R0250
特殊作業員	17.00	人			R0010
普通作業員	34.00	人			R0020
諸雑費	23	%			#04
セメント(袋) 早強ポルトランド 25kg/袋	12.30	t			T0212
混和剤 マスターレオビルド4000 相当	246	L			W0001
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			























# 施工単価表

反力体材料

V0030

単第0 -0020 表

頁0 -0036

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウンドプレート GP-1-1B	10	基			W0001
上部サポートロープアンカー 22.5mm×2 L=4.5m	2	本			W0001
下部サポートロープアンカー 22.5mm×2 L=4.0m	2	本			W0001
増設アンカー 22.5mm×2 L=5.5m	1	本			W0001
端末リテイニングロープアンカー 18.5mm×2 L=3.5m	1	本			W0001
中間リテイニングロープアンカー 22.5mm×2 L=5.0m	1	本			W0001
ダウンスロープアンカー 10.5mm×2 L=3.0m	1	本			W0001
全ねじ異形鋼棒 山側 D32 L=2.7m SD490	2	本			W0001
全ねじ異形PC鋼棒 山側 D32 L=4.7m	6	本			W0001
全ねじ異形PC鋼棒 山側 D32 L=5.2m	2	本			W0001
全ねじ異形PC鋼棒 谷側 D32 L=4.2m	10	本			W0001
上部ナット D32 全ねじ異形鋼棒	2	個			W0001

# 施工単価表

反力体材料

V0030

単第0 -0020 表

頁0 -0037

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
下部ナット D32 全ねじ異形鋼棒	2	個			W0001
ワッシャー D32 全ねじ異形鋼棒	4	枚			W0001
上部ナット D32 全ねじ異形PC鋼棒	8	個			W0001
上部溝付ナット D32 全ねじ異形PC鋼棒	10	個			W0001
下部ナット D32 全ねじ異形PC鋼棒	18	個			W0001
ワッシャー D32 全ねじ異形PC鋼棒	26	枚			W0001
カブラー D32 全ねじ異形PC鋼棒	2	枚			W0001
補強鋼管 STPG370 76.3×t7.0 L=1500	8	本			W0001
補強鋼管 S45C 76.3×t7.0 L=1500	2	本			W0001
頭部保護キャップ	20	個			W0001
充填剤 333mL/本	20	本			W0001
孔壁保護管 60 メッシュ管	40	本			W0001





# 施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0022 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込

DID区間有り 運搬距離19.5km以下(14.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.90% 労務構成比:

36.46% 材料構成比: 14.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,166.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.90%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.46%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 全ての費用		B=1 D=68	機械積込 運搬距離19.5km以下(14.0km超)	







# 施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK19040177

単第0 -0025 表

伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

101.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	57.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	21.45%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(中)(10本/100m2以上50本/100m2未満)			B=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

運搬(伐木除根)

SPK19040183

単第0 -0027 表

人力施工

DID区間有り 距離18.0km以下(14.5km超)

1

m2 当り

機械構成比: 22.24% 労務構成比:

68.81% 材料構成比: 8.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

11.20800

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	22.24%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	68.81%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.95%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=48 人力施工 距離18.0km以下(14.5km超)			C=2 E=1 DID区間有り 全ての費用		

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 土工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単	数量区分		合計					内訳数量表 別紙	備 考
掘削工			式	m3									
	掘削(土砂)		m3	m3	合 計		12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
					片切部	砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						礫質土	12.5	12.5					
						岩塊・玉石	0.0						
	掘削(軟岩)		m3	m3	合 計		3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
					片切部	軟岩1	3.8	3.8					
						軟岩2	0.0						
法面整形工			式	m2									
	法面整形(切土部)		m2	m2	合 計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					機械	砂・砂質土、粘性土、レキ質土	0.0						
						軟岩1	0.0						
					人力	砂・砂質土、粘性土、レキ質土	0.0	0.0					
						軟岩1、軟岩2、中硬岩以上	0.0						
残土処理工			式	m3									
	残土処理		m3	m3	合 計		16.3	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
						砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						レキ質土	12.5	12.5					
						軟岩	3.8	3.8					
						硬岩	0.0						
						岩塊・玉石	0.0						

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 法面工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用単位	数量計算用単位	数量区分						合計	内訳数量表別紙	備考					
法枠工			式	m2														
	法枠工 (吹付枠)	□300-2000×2000 モルタル吹付t=8cm	m2	m2	合計						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
					コンクリート吹付、梁断面300×300	H≤40m						0.0	0.0			1-1	H:法面の垂直高	
						40m<H						0.0						
アンカー工			式	本														
	鉄筋挿入工	鉄筋径D25 削孔長L=3.6m 削孔径φ65	m	m	合計						148	148	0	0	0	0		
					現場条件I	1m≤L≤5m 42mm≤φ≤65mm	H≤30m					148	148	(41本)			1-2	L:削孔長,φ:削孔径,H:法面の垂直高
					現場条件II	1m≤L≤5m 42mm≤φ≤65mm	H≤40m					0						注)現場条件I~IIIが適用できない
					現場条件III	1m≤L≤2m 42mm≤φ≤50mm	H≤40m					0						場合は、数量区分を設定し、計上
					注)							0						すること。

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 落石防止工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
ネット系待受工			式	m2									
	ネット系待受工	支柱反力体・増設アンカーのみ	m	m	合 計	42.0	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						42.0	42.0					別紙による	インバクハリア相当品
						0.0							
落石防護柵工			式	m									
	落石防護柵	H=1.5m	m	m	合 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						0.0	0.0						
						0.0							
フェンス			式	m									
	フェンス	H=1.5m	m	m	合 計	23.0	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						23.0	23.0						撤去・再利用
						0.0							
フェンス基礎			式	m									
	フェンス基礎		箇所	箇所	合 計	17.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		200×200×450				17.0	17.0					1-5	
						0.0							

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 構造物撤去工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単	数量区分						合計	内訳数量表 別紙	備考					
構造物取壊し工			式															
構造物取壊し	コンクリート構造物 取壊し		m3	m3	合計						17.1	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0	H.施工基面からの高さ	
					無筋構造物	H<-5m					0.0							
						-5m≤H≤5m					17.1	17.1						
						5m<H					0.0							
	舗装版取壊し	アスファルト舗装版 t=5cm	m2	m2	合計						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	t:舗装版厚さ	
					機械施工	t≤10cm					0.0	0.0						
						10cm<t≤15cm					0.0							
						15cm<t≤35cm					0.0							
						35cm<t≤40cm					0.0							
	カッター切断	アスファルト舗装版 t=5cm	m	m	合計						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
										0.0	0.0							
										0.0								
コンクリート取壊し運 搬処理		m3	m3	合計						17.1	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
										17.1	17.1							
										0.0								
立入防止柵撤去工			式	m														
フェンス撤去		m	m	合計						23.0	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
										23.0	23.0							
										0.0								
運搬処理工			式	m3														
殻運搬処理	コンクリート アスファルト	m3	m3	合計						17.1	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
										17.1	17.1							
										0.0	0.0							
現場発生品運搬		回	t	合計						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
										0.0								
										0.0								

1-1 法枠工 数量表

梁断面サイズ、吹付材種類、モルタル及びコンクリート吹付厚(枠内)、植生基材吹付厚(枠内):

17.6 m当り

項目	規格	数量区分	単位	数量		備考
				全体	1m2当り	
吹付枠	□300-2000×2000	コンクリート吹付	m			
		モルタル吹付	m			
ラス張	φ 2.0-5.0		m2			
枠内モルタル吹付	t=8cm	H≤40m	m2			
		40m<H	m2			
水切モルタル			m3			

1-2 鉄筋挿入工 数量表

鉄筋規格、削孔長:

147.6 m当り

項目	規格	数量区分	単位	数量		備考
				全体	1m当り	
鉄筋挿入	現場条件 I	削孔径(mm)φ 65	m	147.6	1	1箇所当り平均削孔長(m/箇所)=3.6
削孔機械の上下移動			回	4	0.03	
仮設足場設置撤去	W=2.0m		空m3	202.3	1.4	
鉄筋挿入材料費			式	1	1	

1-3 待受擁壁工 数量表

本体コンクリート規格、擁壁平均高さ:

0.0 m当り

項目	規格	数量区分	単位	数量		備考
				全体	1m当り	
コンクリート	σ ck=18N/mm2		m3	0.0		
型枠			m2	0.0		
均しコンクリート	σ ck=18N/mm2		m3	0.0		
同上型枠			m2	0.0		
水抜きパイプ	VU φ 100		m	0.0		
吸出防止材	t=10mm		m2	0.0		
足場			-	-	-	必要の有無=有



## 土量配分

発生土(土砂)

掘削 = 12.5 m<sup>3</sup>

床掘 = 0.0 m<sup>3</sup>

合計 = 12.5 m<sup>3</sup>

必要土

埋戻(D) = 0.0 m<sup>3</sup>

大型土のう = 0.0 m<sup>3</sup>

合計 = 0.0 m<sup>3</sup>

発生土(軟岩)

掘削 = 3.8 m<sup>3</sup>

床掘 = 0.0 m<sup>3</sup>

合計 = 3.8 m<sup>3</sup>

残土処分

(土砂) 発生土 - 流用土 × 1/変化率

$$V = 12.5 - 0.0 \times 1/0.9 = 12.5 \text{ m}^3$$

(軟岩)

$$V = 3.8 = 3.8 \text{ m}^3$$

土工集計表(1)

掘削工

種別 場所	掘削(土砂)	掘削(軟岩)			
ネット系待受工	12.5	3.8			
待受擁壁工	0.0	0.0			
計	12.5 m <sup>3</sup>	3.8 m <sup>3</sup>			

法面整形工

種別 場所	切土法面整形 (土砂)				
ネット系待受工	—				
待受擁壁工	0.0				
計	0.0 m <sup>2</sup>				

## 掘削工 (ネット系待受工)

## 計 算 書

測 点	距 離	掘削(土砂) C (SE)			掘削(軟岩) C (SR)			摘 要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
ネット系待受工(1)								
		1.2			4.3			
NO. 0		1.2			4.3			
IP. 1		0.3			0.3			
NO. 1		0.3			0.1			
		0.3			0.1			
	(0.0)							
ネット系待受工(2)								
		0.5			0.0			
NO. 1		0.5			0.0			
NO. 1+10.00		0.2			0.3			
NO. 2		0.6			0.0			
NO. 2+10.00		0.5			0.0			
NO. 3		0.5			1.7			
NO. 3+10.00		1.0			0.9			
NO. 4		0.9			0.5			
		0.9			0.5			
	(0.0)							
ネット系待受工(3)								
		0.1			0.0			
NO. 4	6.1	0.1	0.10	0.6	0.0	0.00	0.0	
NO. 4+10.00	10.3	0.2	0.15	1.5	0.0	0.00	0.0	
NO. 5	10.6	0.6	0.40	4.2	0.3	0.15	1.6	
IP. 4'	9.6	0.3	0.45	4.3	0.1	0.20	1.9	
NO. 6	5.4	0.4	0.35	1.9	0.0	0.05	0.3	
					0.0			
	(42.0)							
合 計	42.0			12.5			3.8	





## 鉄筋挿入工

## 数量計算書

種 別	規 格	算 式	単位	単位当り 数量	数 量	備 考
メッキボルト	SD345 D25 4.0m	41 箇所 (4.0m/箇所) 展開図参照	本	1箇所当り 1	41	
削孔	現場条件 I φ65	ボルト4.0m - 頭部余長0.1m - 法面工0.3m	m	1箇所当り 3.60	147.6	
先端キャップ	D25-65	構造図参照	個	1箇所当り 1	41	
スペーサー	D25-65	構造図参照	個	1箇所当り 2	82	
ベルシース	D25-65	構造図参照	個	1箇所当り 1	41	
角座金(メッキ)	150*150*9	構造図参照	枚	1箇所当り 1	41	
メッキワッシャー		構造図参照	個	1箇所当り 1	41	
メッキコマナット	D19用	構造図参照	個	1箇所当り 1	41	
ヘッドキャップ	防錆材	構造図参照	個	1箇所当り 1	41	
グラウト材	σ=24N/mm2	1本あたりのグラウト使用量 ( $\pi/4 \times \text{削孔径}^2 / 10^6$ ) × (削孔長 + 桁厚) × 1.4 (ロス率)  ( $\pi/4 \times 65^2 / 10^6$ ) × 3.9 × 1.4 = 0.018	m3	1箇所当り 0.0180	0.7	
ポルトランドセメント	普通	1230kg/m3 × 3.0	kg	1m3当り 1,230	861.0	
マスター レオビルド4000		減水剤 (セメント量C × 2%)	ℓ	1m3当り 24.6	17.2	
削孔機械の 上下移動		施工段数-1段	回			

## 数量総括表

インパクトバリア				
H= 5m		L=3m+7@5m+4m=42m		
項目または名称	仕 様	単位	数量	備 考
グラウンドプレート	GP-1-IB	体	10	
上部サポートロープアンカー	φ22.5mm×2 L=4.5m	本	1	P1
	φ22.5mm×2 L=4.5m	本	1	P10
下部サポートロープアンカー	φ22.5mm×2 L=4m	本	1	P1
	φ22.5mm×2 L=4m	本	1	P10
端末部リテイニングロープアンカー	φ18.5mm×2 L=3.5m	本	1	R10
中間部リテイニングロープアンカー	φ22.5mm×2 L=5m	本	1	R7~R9
ダウンスロープアンカー	φ10.5mm×2 L=3m	本	1	P5
増設アンカー	φ22.5mm×2 L=5.5m	本	1	P3~P4
全ねじ異形棒鋼（山側）	D32 (SD490) L=2.7m	本	1	P1
	D32 (SD490) L=2.7m	本	1	P11
全ねじ異形PC鋼棒（山側）	D32 L=4.7m	本	2	P2, P3
	D32 L=5.2m	本	2	P4, P5
	D32 L=4.7m	本	4	P6~P19
全ねじ異形PC鋼棒（谷側）	D32 L=4.2m	本	1	P1
	D32 L=4.2m	本	1	P10
	D32 L=4.2m	本	8	P2~P9
削孔長	φ115mm	m	116.0	
全ねじ異形棒鋼付属品				
ナット（上部）	D32用	個	2	
ナット（下部）	D32用	個	2	
ワッシャ	D32用	個	4	
球面ワッシャ	D32用	個	0	
カプラー	D32用	個	0	
全ねじ異形PC鋼棒付属品				
ナット（上部）	D32用	個	8	
溝付ナット（上部）	D32用	個	10	
ナット（下部）	D32用	個	18	
ワッシャ	D32用	個	26	
カプラー	D32用	個	2	
補強鋼管	STPG, φ76.3×t7.0, L=1500	本	8	
	S45C, φ76.3×t7.0, L=1500	本	2	
	S45C, φ76.3×t10.0, L=1500	本	0	
頭部保護キャップ		個	20	
充填剤	333m <sup>2</sup> /本	本	20	
孔壁保護管	φ60 mmメッシュ管	本	40	
スペーサー		個	70	
グラウト量		m <sup>3</sup>	3.86	
足場空 <sup>3</sup>		空m <sup>3</sup>	433.6	

※施工時においては、地形状況に合わせるため、各ワイヤロープ長を変更する場合もある。

## 2. グラウンドプレート

グラウンドプレート GP-1-IB タイプ 10 (体)



## 1 1. ワイヤロープアンカー及び支柱基礎反力体

### (1) 鋼材長

#### ①ワイヤロープアンカー

・ 上部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
4.5 (m/本) × 1 (本) =	4.5 (m)		: P1
・ 上部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
4.5 (m/本) × 1 (本) =	4.5 (m)		: P10
・ 下部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
4.0 (m/本) × 1 (本) =	4.0 (m)		: P1
・ 下部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
4.0 (m/本) × 1 (本) =	4.0 (m)		: P10
・ 端末部リテイニングロープアンカー	φ 18.5 mm×2		
3.5 (m/本) × 1 (本) =	3.5 (m)		: R10
・ 中間部リテイニングロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
5.0 (m/本) × 3 (本) =	15.0 (m)		: R7~R9
・ ダウンスロープアンカー	φ 10.5 mm×2		
3.0 (m/本) × 1 (本) =	3.0 (m)		: P5
・ 増設アンカー	φ 22.5 mm×2		
5.5 (m/本) × 1 (本) =	5.5 (m)		: P2~P3

#### ②全ねじ異形棒鋼 D32 (SD490)

鋼材長=設置長+設置余長 (0.2m)

山側 :	2.7 (m/本) × 1 (本) =	2.7 (m)	: P1
	2.7 (m/本) × 1 (本) =	2.7 (m)	: P10

※設置長=削孔長となる。

#### ③全ねじ異形PC鋼棒 D32

鋼材長=設置長+設置余長 (0.2m)

山側 :	4.7 (m/本) × 2 (本) =	9.4 (m)	: P2, P3
	5.2 (m/本) × 2 (本) =	10.4 (m)	: P4, P5
	4.7 (m/本) × 4 (本) =	18.8 (m)	: P6~P9
谷側 :	4.2 (m/本) × 1 (本) =	4.2 (m)	: P1
	4.2 (m/本) × 1 (本) =	4.2 (m)	: P10
	4.2 (m/本) × 8 (本) =	33.6 (m)	: P2~P9

※設置長=削孔長となる。

## (2) 削孔長

削孔長数量表 (φ 115 mm)

反力体区分		1本当りの削孔長			本数 (本)	延べ削孔長 (m)	
		設置長	風化岩	レキ質土		風化岩	レキ質土
上部サポートロープアンカー	P1	4.5	3.5	1.0	1	3.5	1.0
	P10	4.5	3.5	1.0	1	3.5	1.0
下部サポートロープアンカー	P1	4.0	3.0	1.0	1	3.0	1.0
	P10	4.0	3.0	1.0	1	3.0	1.0
増設アンカー	P3~P4	5.5	4.0	1.5	1	4.0	1.5
端末部リテイニングロープアンカー	R10	3.5	2.5	1.0	1	2.5	1.0
中間部リテイニングロープアンカー	R7~R9	5.0	4.0	1.0	1	4.0	1.0
ダウンスロープアンカー	P5	3.0	1.5	1.5	1	1.5	1.5
全ねじ異形棒鋼(山側)	P1	2.5	1.5	1.0	1	1.5	1.0
	P10	2.5	1.5	1.0	1	1.5	1.0
全ねじ異形PC鋼棒(山側)	P2, P3	4.5	3.5	1.0	2	7.0	2.0
	P4, P5	5.0	3.5	1.5	2	7.0	3.0
	P6~P9	4.5	3.5	1.0	4	14.0	4.0
全ねじ異形PC鋼棒(谷側)	P1	4.0	2.5	1.5	1	2.5	1.5
	P10	4.0	2.5	1.5	1	2.5	1.5
	P2~P9	4.0	2.5	1.5	8	20.0	12.0
合 計						81.0	35.0
削孔長延長						116.0	

12. 各反力体付属部材

・全ねじ異形棒鋼付属品

ナット（上部） D32用

必要個数=全ねじ異形棒鋼設置本数： 2（個）

ナット（下部） D32用

必要個数=全ねじ異形棒鋼設置本数： 2（個）

ワッシャ D32用

必要個数=全ねじ異形棒鋼（山側）設置本数×2

: 4（個）

球面ワッシャ

必要個数=全ねじ異形棒鋼（谷側）設置本数： 0（個）

カプラー

全ねじ異形棒鋼 全長 (m)	カプラー個数 (個)
0.0~4.5	-
4.6~9.0	1
9.1~13.5	2

山側： 0 個 × 2 本 = 0 個

谷側： 0 個 × 0 本 = 0 個

0 個

※カプラーは、現地状況（搬入など）によって異なるが、当地においては上表を一応の目安に算出するものとし、実施工時においては変更する場合がある。

・全ねじ異形PC鋼棒付属品

ナット（上部） D32用

必要個数=全ねじ異形PC鋼棒（山側）設置本数： 8（個）

溝付ナット（上部） D32用

必要個数=全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数： 10（個）

ナット（下部） D32用

必要個数=全ねじ異形PC鋼棒設置本数： 18（個）

ワッシャ D32用

必要個数=全ねじ異形PC鋼棒（山側）設置本数×2+全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数

: 26（個）

カプラー

全ねじ異形PC鋼棒 全長 (m)	カプラー個数 (個)
0.0~4.5	-
4.6~9.0	1
9.1~13.5	2

山側： 1 個 × 2 本 = 2 個

谷側： 1 個 × 0 本 = 0 個

2 個

※カプラーは、現地状況（搬入など）によって異なるが、当地においては上表を一応の目安に算出するものとし、実施工時においては変更する場合がある。

補強鋼管

必要本数=全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数： 10（本）

STPG370、φ76.3×t7.0、L=1500 : 8（本）

S45C、φ76.3×t7.0、L=1500 : 2（本）

S45C、φ76.3×t10.0、L=1500 : 0（本）

頭部保護キャップ

頭部保護キャップ必要個数=全ねじ異形棒鋼設置本数+全ねじ異形PC鋼棒設置本数： 20（個）

充填剤（保護キャップ設置用） 1箇所あたり1本（333ml/本）

充填剤必要本数=頭部保護キャップ数： 20（本）

孔壁保護管（φ 60 mm）

ワイヤロープアンカー 区分	延べ削孔長	1本当り長さ	設置本数
サポートロープアンカー	: 17.0 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 19 (本)
リテイニングロープアンカー	: 8.5 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 10 (本)
ダウンスロープアンカー	: 3.0 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 4 (本)
増設アンカー	: 5.5 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 7 (本)
合 計			40 (本)

スペーサー

先端より0.5mの位置から最大ピッチ2.5mで設置する。また最低個数は1本当たり2個以上とする。

反力体区分	アンカー設置長	アンカー 1本あたり個数	アンカー 本数	設置個数
上部サポートロープアンカー	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
下部サポートロープアンカー	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
端末部リテイニングロープアンカー	: 3.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
中間部リテイニングロープアンカー	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
ダウンスロープアンカー	: 3.0 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
増設アンカー	: 5.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
全ねじ異形棒鋼 (山側)	: 2.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 2.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
全ねじ異形PC鋼棒 (山側)	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	2 (本) =	6 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	2 (本) =	6 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	4 (本) =	12 (個)
全ねじ異形PC鋼棒 (谷側)	: 4.0 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 4.0 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 4.0 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	8 (本) =	16 (個)
合 計				70 (個)

### 13. グラウト量

グラウト量は、以下に示す国土交通省土木工事積算基準（H21（財）建設物価調査会 P.167より抜粋）に従い算出する。

(3) 材料使用量及び補正係数（参考）

1) グラウトの使用量

グラウトの使用量は、次表を参考とする。

$$V = \frac{D^2 \times \pi}{4 \times 10^6} \times L \times (1 + K) \quad \dots\dots \text{式3.1}$$

V：注入量（m<sup>3</sup>）

D：ドリルパイプの外径（mm）

L：削孔長（m）

K：補正係数

（注）設計における補正係数は、2.2を標準とする。ただし、過去の実績や土質条件等により本係数を使用することが不合理である場合は、別途考慮する。

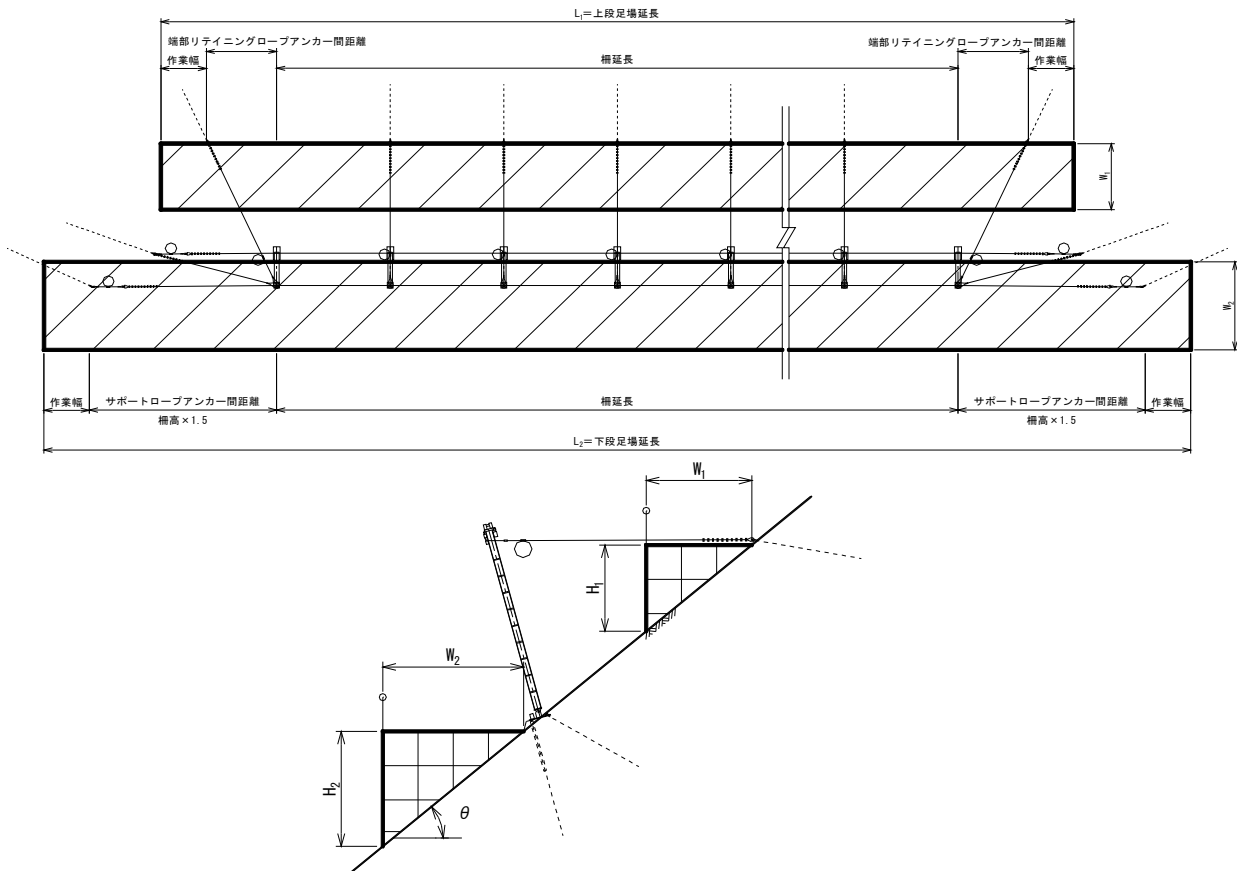
削孔径： 115（mm）

削孔延長： 116.0（m）

$$\begin{aligned} V &= D^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times \Sigma L \times (1 + K) \\ &= 115^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 116.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 3.86 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

#### 1 4. 足場空<sup>3</sup>

仮設足場の数量は、足場面積×柵延長にて算出する。



##### ・上段足場（リテイニングロープ削孔用足場）

足場幅： $W_1 = 3.0$  m

勾配： $\theta = 39^\circ$

足場高： $H_1 = W_1 \times \tan 39^\circ = 2.4$  m

足場面積： $A_1 = 3.0$  (m)  $\times$   $2.4$  (m) / 2 =  $3.6$  (m<sup>2</sup>)

足場延長： $L_1 =$  柵延長 + 両端部リテイニングロープアンカー間距離 + 作業幅  
 $= 4.0 + 0.0 + 8.0 + 0.0 = 12.0$  m

足場空<sup>3</sup>： $A_1 \times L_1 = 3.6 \times 12.0 = 43.2$  (空<sup>3</sup>)

##### ・下段足場（支柱建て込み及びサポートロープアンカー削孔用足場）

足場幅： $W_2 = 4.0$  m

勾配： $\theta = 39^\circ$

足場高： $H_2 = W_2 \times \tan 39^\circ = 3.2$  m

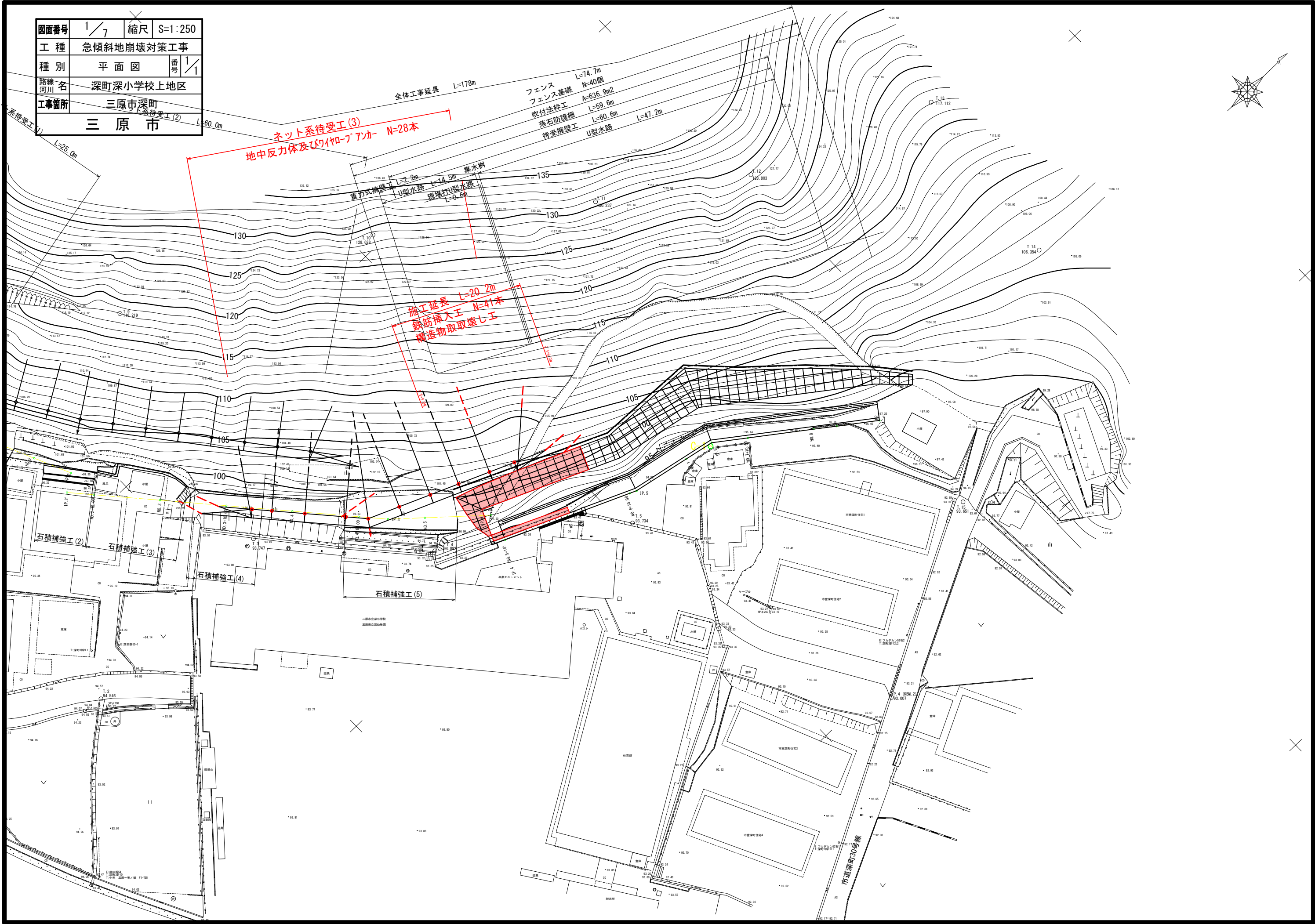
足場面積： $A_2 = 4.0$  (m)  $\times$   $3.2$  (m) / 2 =  $6.4$  (m<sup>2</sup>)

足場延長： $L_2 =$  柵延長 + 両端部サポートロープアンカー間距離 + 作業幅  
 $= 42 + 7.5 + 7.5 + 2.0 \times 2 = 61$  m

足場空<sup>3</sup>： $A_2 \times L_2 = 6.4 \times 61.0 = 390.4$  (空<sup>3</sup>)

総足場空<sup>3</sup>： $43.2 + 390.4 = 433.6$  (空<sup>3</sup>)

図面番号	1/7	縮尺	S=1:250
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
	三原市		



全体工事延長 L=178m

フェンス L=74.7m  
 フェンス基礎 N=40個  
 吹付法砕工 A=636.9m<sup>2</sup>  
 落石防護柵 L=59.6m  
 待受構壁工 L=60.6m  
 U型水路 L=47.2m

ネット系待受工 (3)  
 地中反力体及びワイロ-プアンカー N=28本

施工延長 L=20.2m  
 鉄筋挿入工 N=41本  
 構造物取壊し工

石積補強工 (2)

石積補強工 (3)

石積補強工 (4)

石積補強工 (5)

市道深町30号線

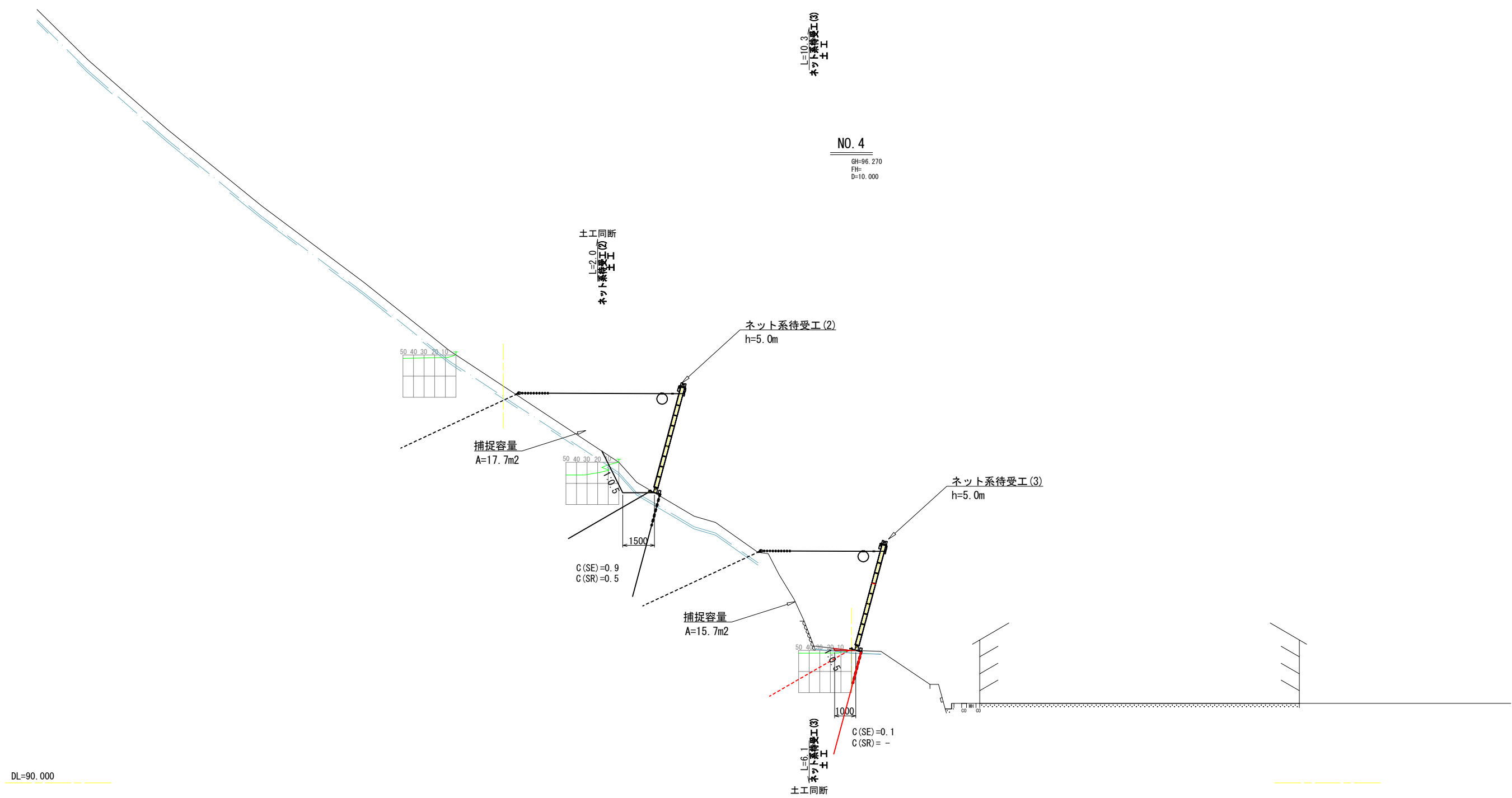




図面番号	3/7	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	横断図	番号	1/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

# 横断図 (1/5)

NO. 4

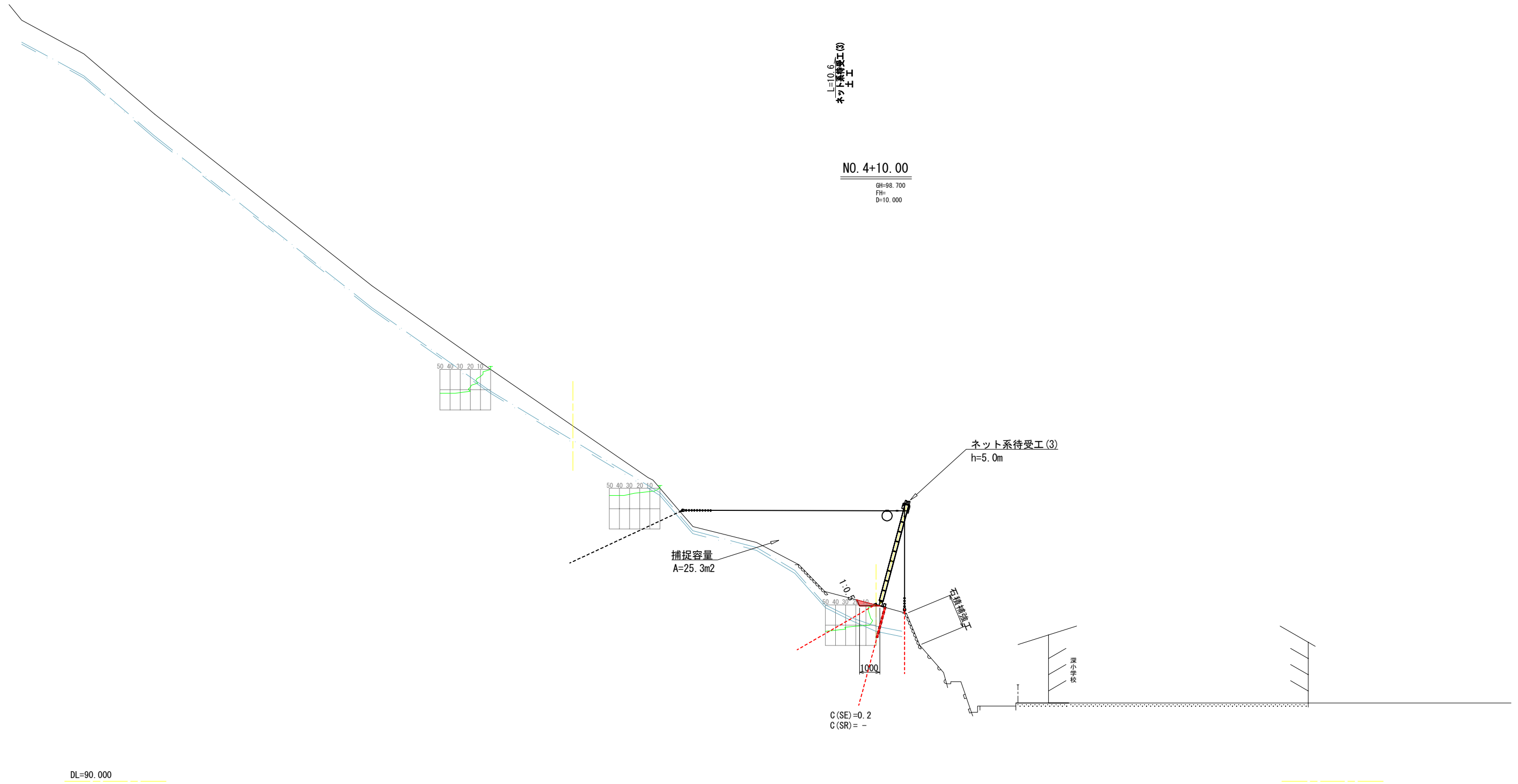


DL=90.000

# 横断図 (2/5)

図面番号	4/7	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	横断図	番号	2/5
路線名 河川	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

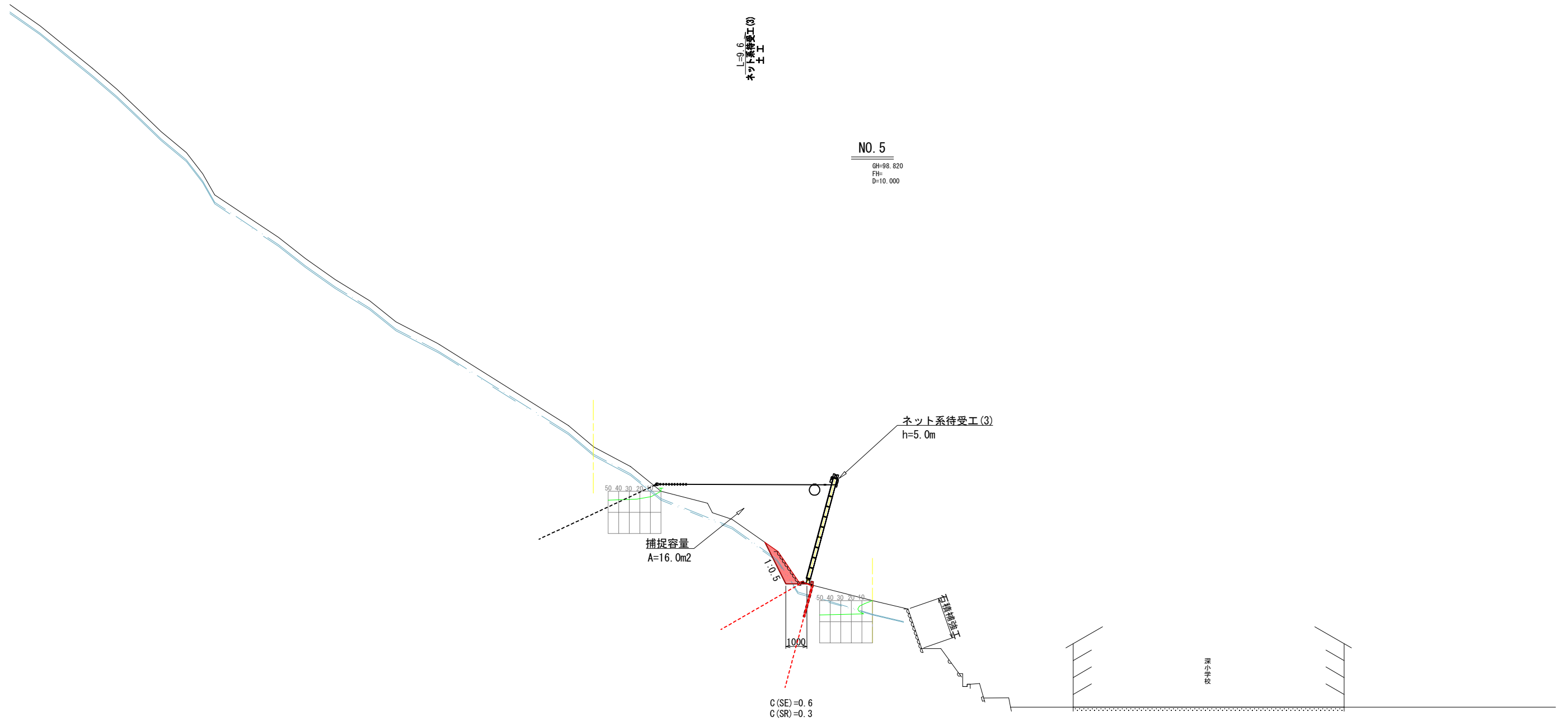
NO. 4+10.00



# 横断図 (3/5)

図面番号	5/7	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	横断図	番号	3/5
路線名 河川	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 5



NO. 5  
GH=98.820  
FH=  
D=10.000

ネット系待受工 (3)  
h=5.0

C (SE) = 0.6  
C (SR) = 0.3

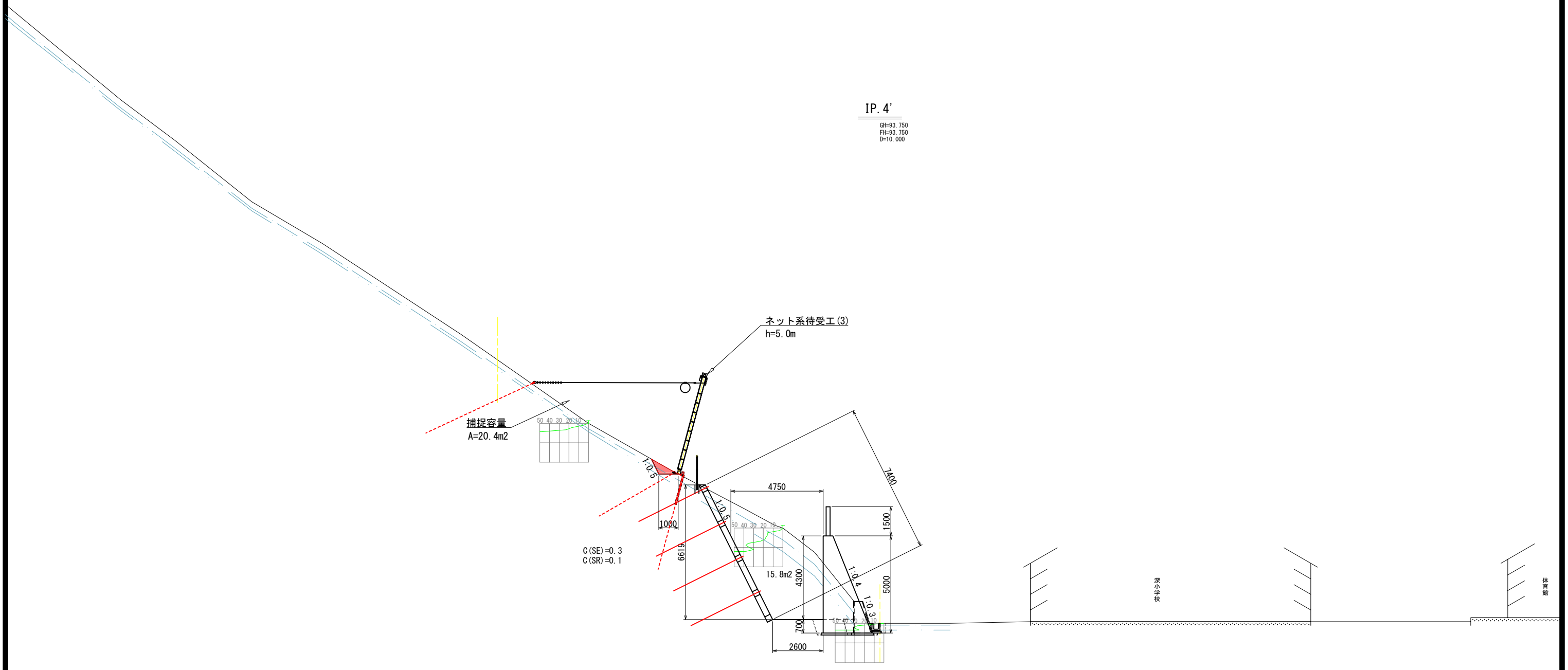
# 横断図 (4/5)

図面番号	6/7	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	横断図	番号	4/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

IP. 4'

IP. 4'

GH=93.750  
FH=93.750  
D=10.000



C (SE)=0.3  
C (SR)=0.1

C (SE)=2.2  
C (SR)=22.1  
I (SE)=0.6  
埋戻Co=0.4  
Co取壊=1.3  
E (SE)=(0.2)0.2  
E (SR)=(0.4)1.6  
Fu (D)=(0.2)0.2  
K (SE)=(1.1)2.7

( )内は重力式擁壁工の数値

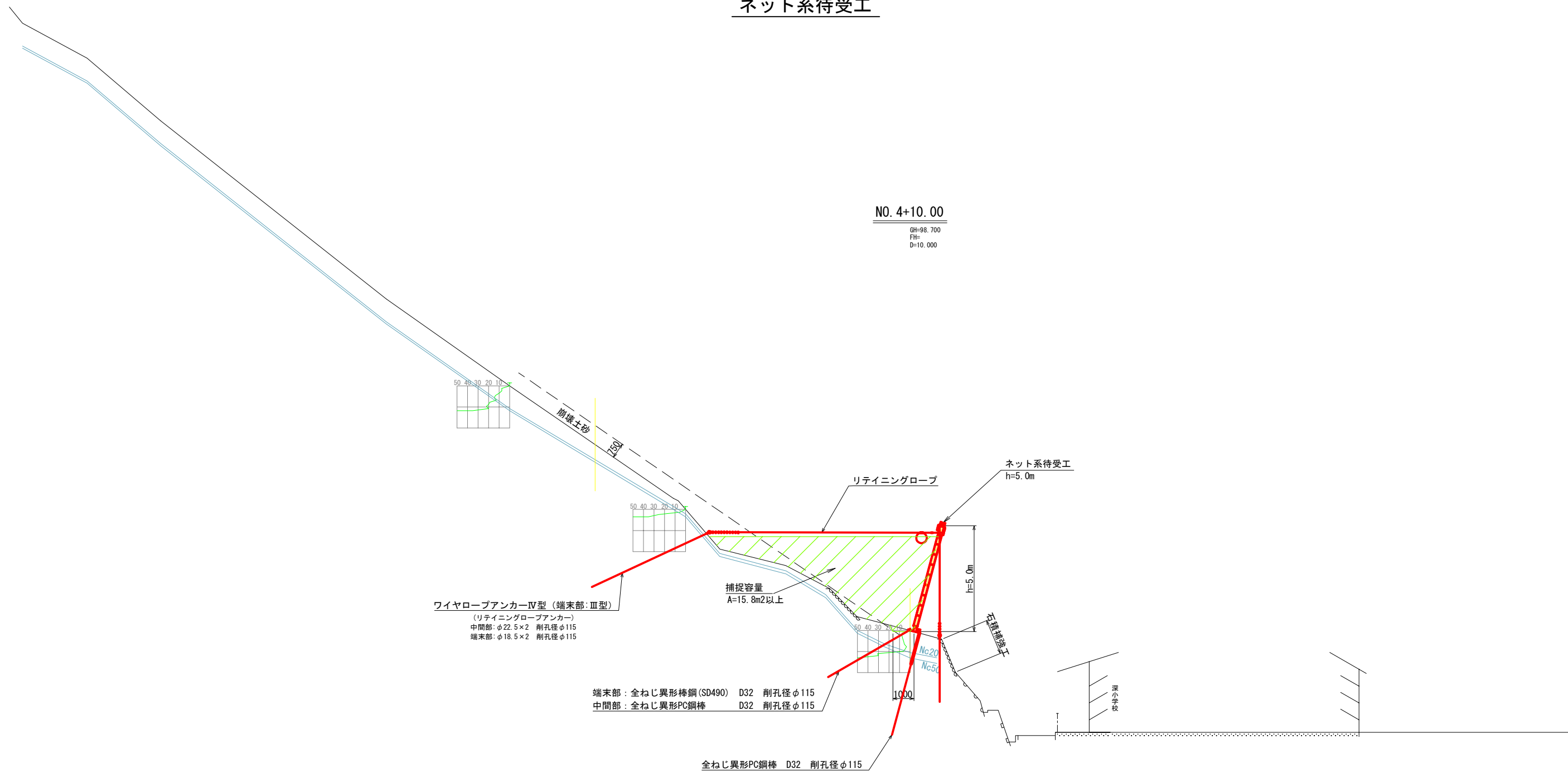
DL=90.000



図面番号	1/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	標準断面図	番号	1/1
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

# 標準断面図

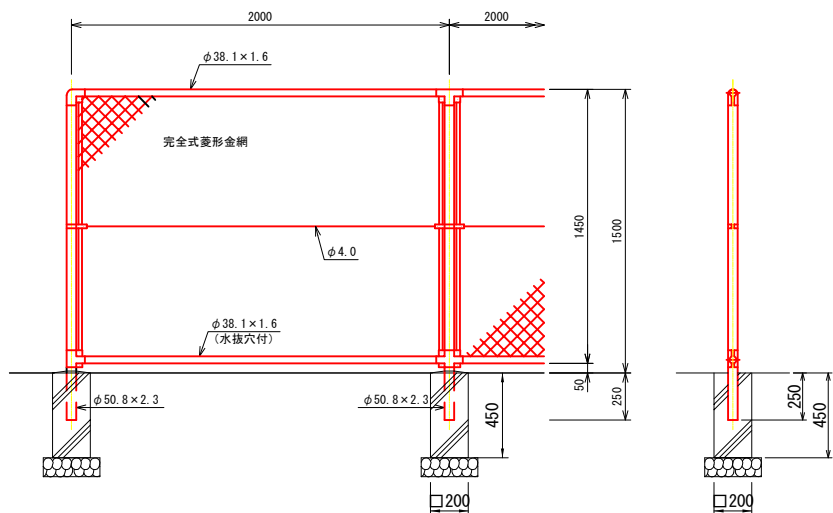
## ネット系待受工



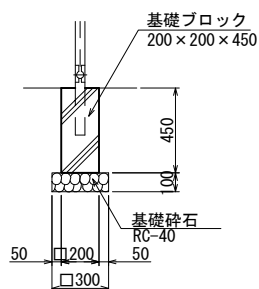
図面番号	2/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	構造図	番号	1/1
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

# 構造図 (1/1)

## フェンス S=1:20

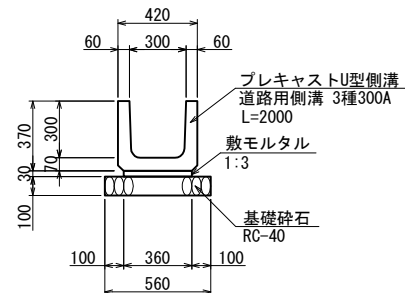


## フェンス基礎 S=1:20



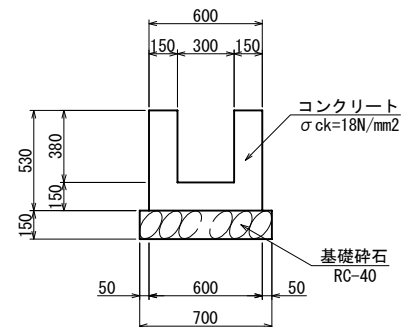
数量表		1箇所当り	
種別	規格	算式	数量
基礎ブロック	200×200×450		1.0個
基礎砕石	RC-40 t=100	0.30×0.30	0.1m <sup>2</sup>

## U型水路 S=1:20



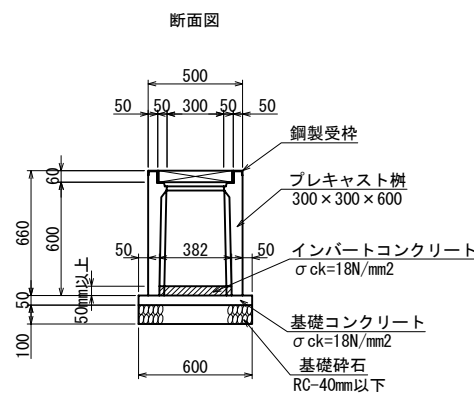
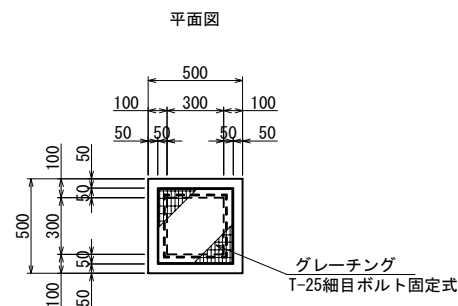
数量表		10m当り	
種別	規格	算式	数量
道路用側溝	3種 300A	10.0/2.0	5本
敷モルタル	1:3	0.36×0.03×10.0	0.108m <sup>3</sup>
目地モルタル	1:3		0.002m <sup>3</sup>
基礎砕石	RC-40 t=100	0.56×10.0	5.6m <sup>2</sup>

## 現場打U型水路 S=1:20



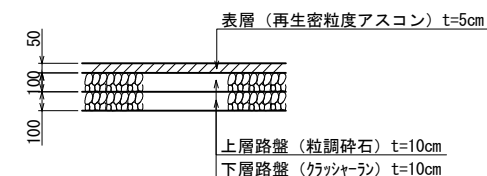
数量表		10m当り	
種別	規格	算式	数量
コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	(0.60×0.53-0.30×0.38)×10.0	2.04m <sup>3</sup>
型枠		0.53×4×10.0	21.20m <sup>2</sup>
基礎砕石	RC-40 t=150	0.70×10.0	7.0m <sup>2</sup>

## 集水樹 B300-L300-H600 S=1:20



数量表		1箇所当り	
種別	規格	算式	数量
インポートコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	0.382×0.382×0.05	0.01m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	0.60×0.60×0.05	0.02m <sup>3</sup>
基礎コンクリート型枠		0.60×0.05×4	0.12m <sup>2</sup>
基礎砕石	RC-40 t=100	0.60×0.60	0.4m <sup>2</sup>
プレキャスト樹	300×300×600		1.0個

## アスファルト舗装復旧 S=1:20

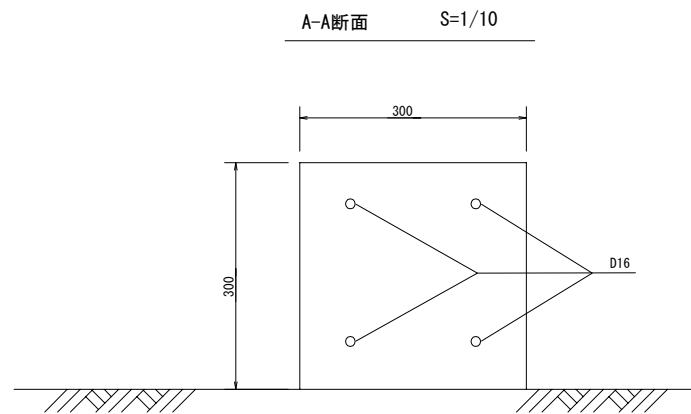
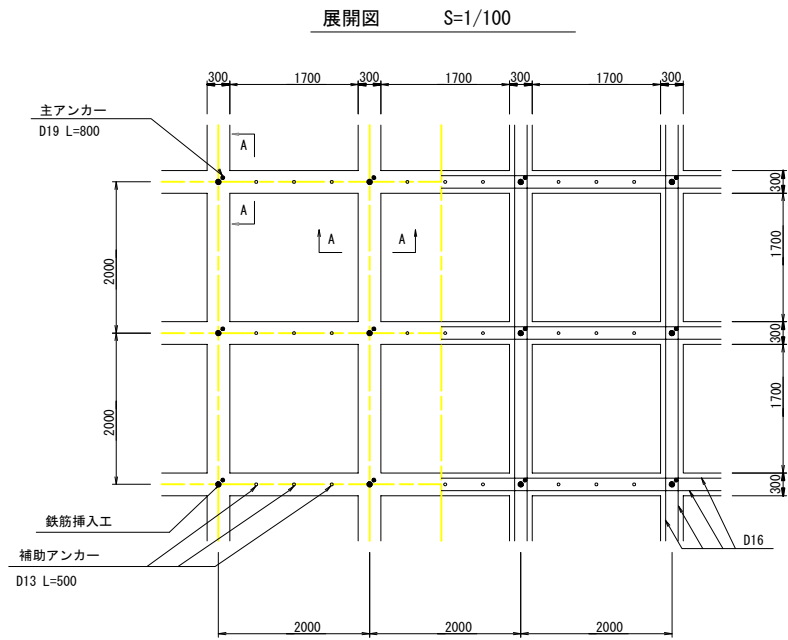




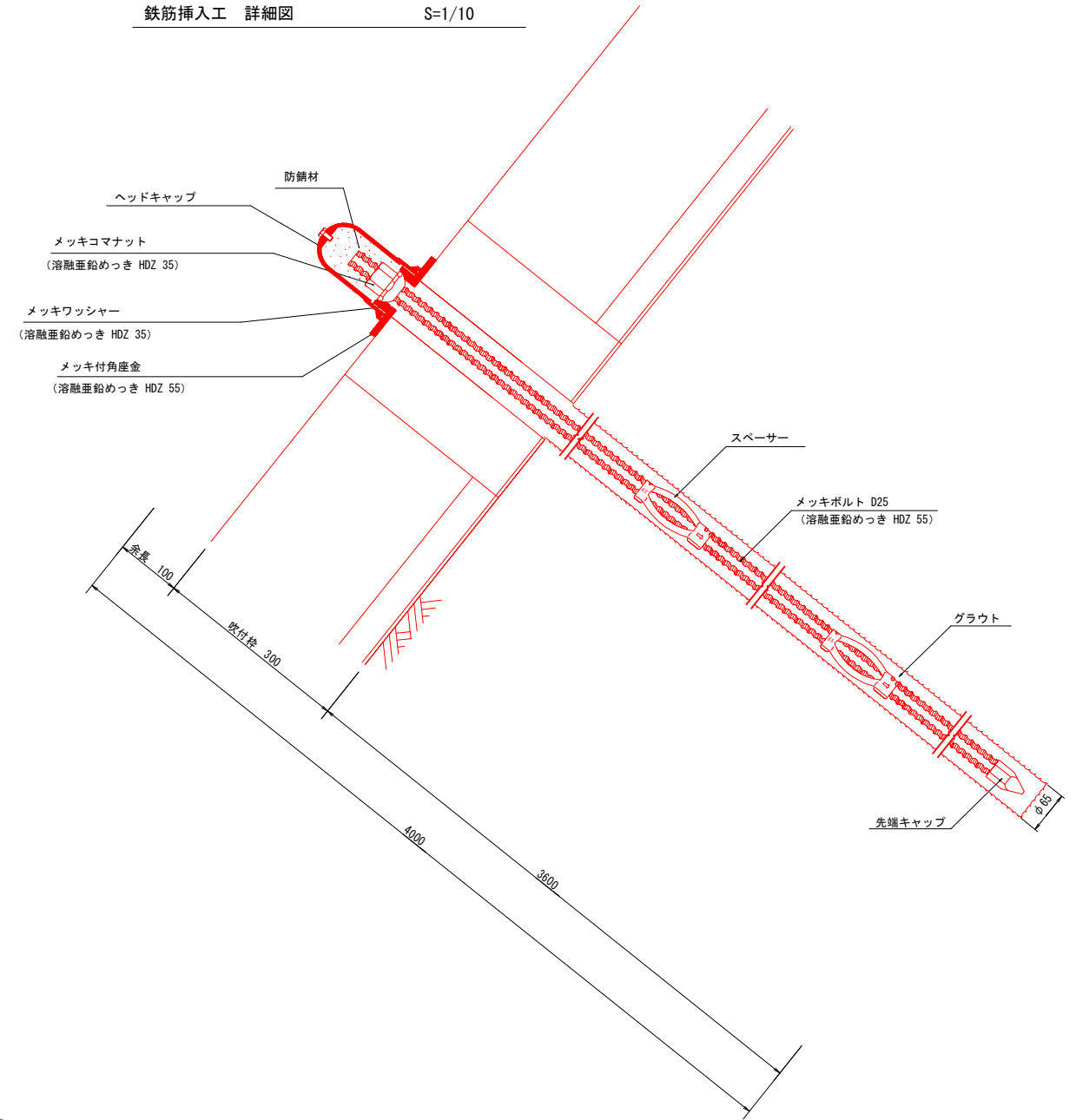
図面番号	3/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	吹付法砕工構造図	番号	1/1
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

# 吹付法砕工構造図

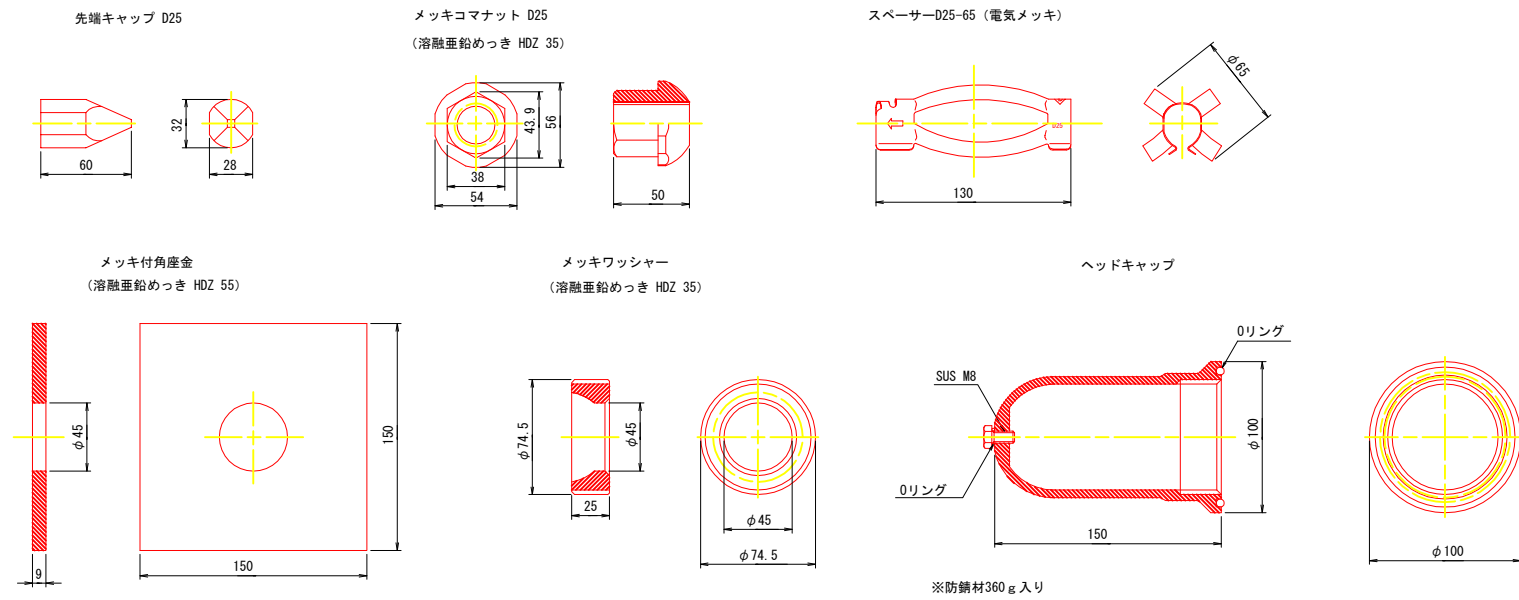
## 吹付法砕工+鉄筋挿入工



鉄筋挿入工 詳細図 S=1/10



鉄筋挿入工部品図 S=1/5

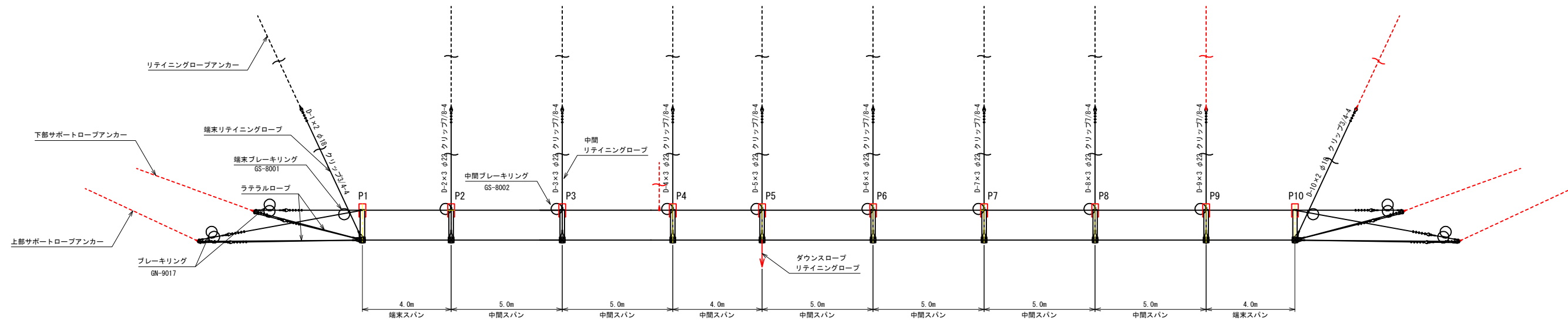


図面番号	4/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	ネット系待受工(3)詳細図	番号	1/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

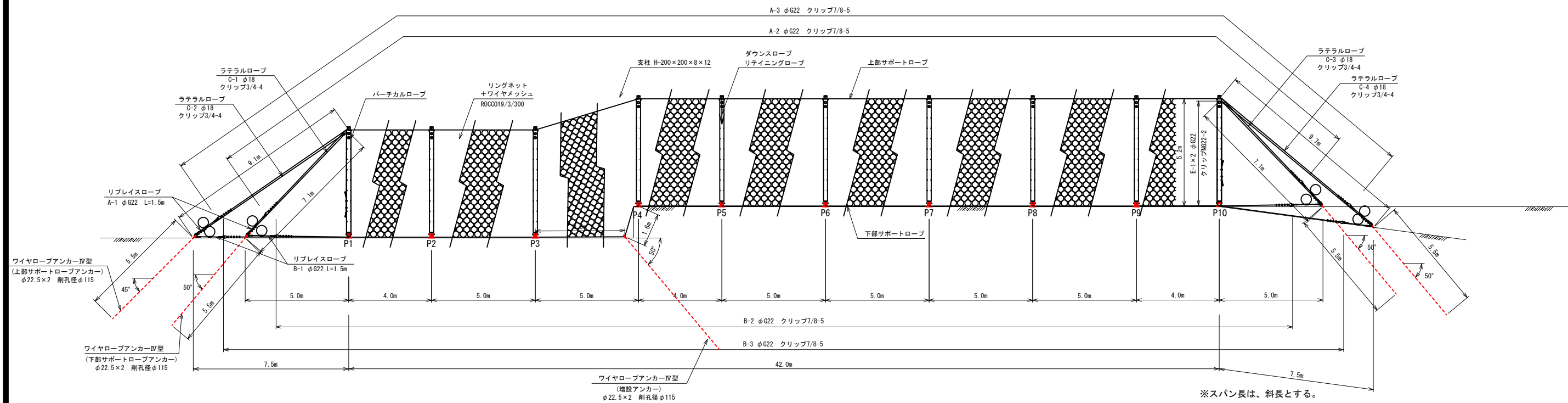
# インパクトバリア 構造図(1)

③柵 延長42m

平面図 S=1/100



展開図 S=1/100

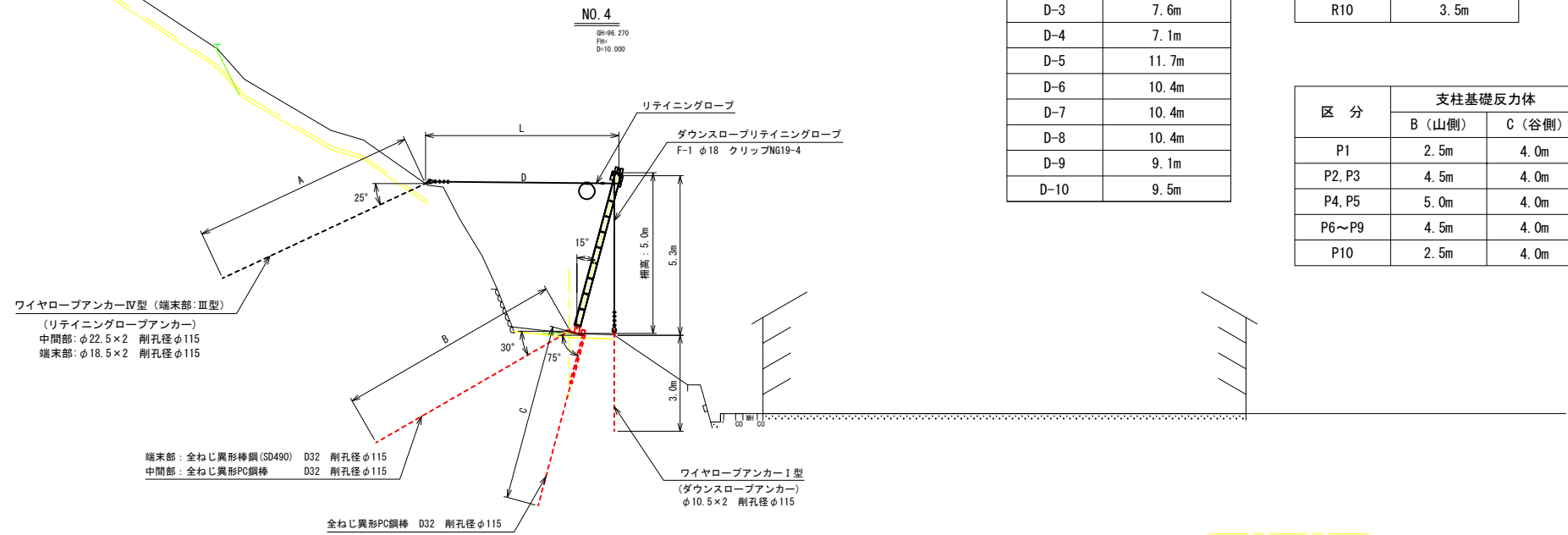


図面番号	5/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	ネット系待受工(3)詳細図	番号	2/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

## インパクトバリア 構造図(2)

### ③柵 延長42m

断面図 S=1/100



区分	リテイニングロープ長
	L
D-1	7.8m
D-2	7.8m
D-3	7.6m
D-4	7.1m
D-5	11.7m
D-6	10.4m
D-7	10.4m
D-8	10.4m
D-9	9.1m
D-10	9.5m

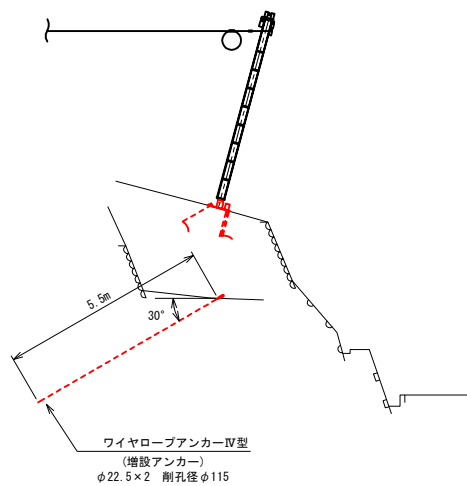
区分	リテイニングロープアンカー
	A
R1	3.5m
R2~R9	5.0m
R10	3.5m

区分	支柱基礎反力体	
	B (山側)	C (谷側)
P1	2.5m	4.0m
P2, P3	4.5m	4.0m
P4, P5	5.0m	4.0m
P6~P9	4.5m	4.0m
P10	2.5m	4.0m

DL=90.000

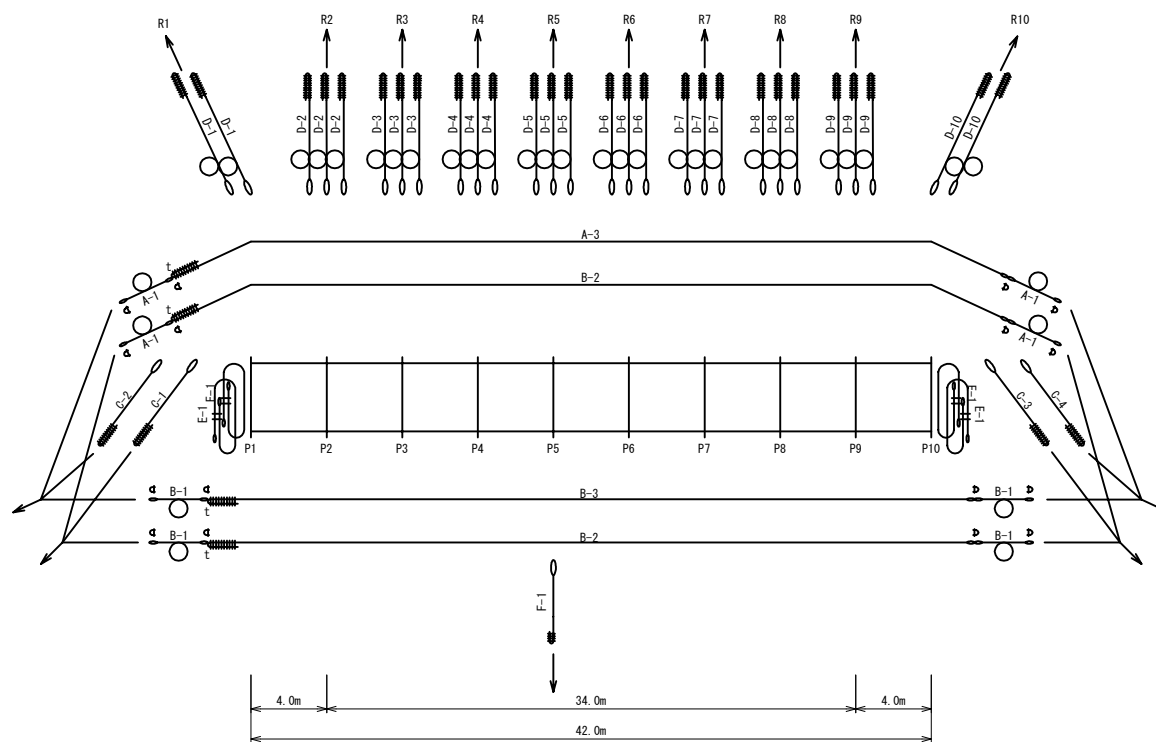
※ダウンスロープリテイニングロープは  
P5支柱に設置する。

断面図 (増設ワイヤー部) S=1/100



※増設アンカーは、P3-P4間に設置する。

ワイヤロープ設置図 S=NTS



※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、  
施工時には各ワイヤロープ長を変更する必要がある。

※2)  $\alpha$  はシャックル止めを示す。

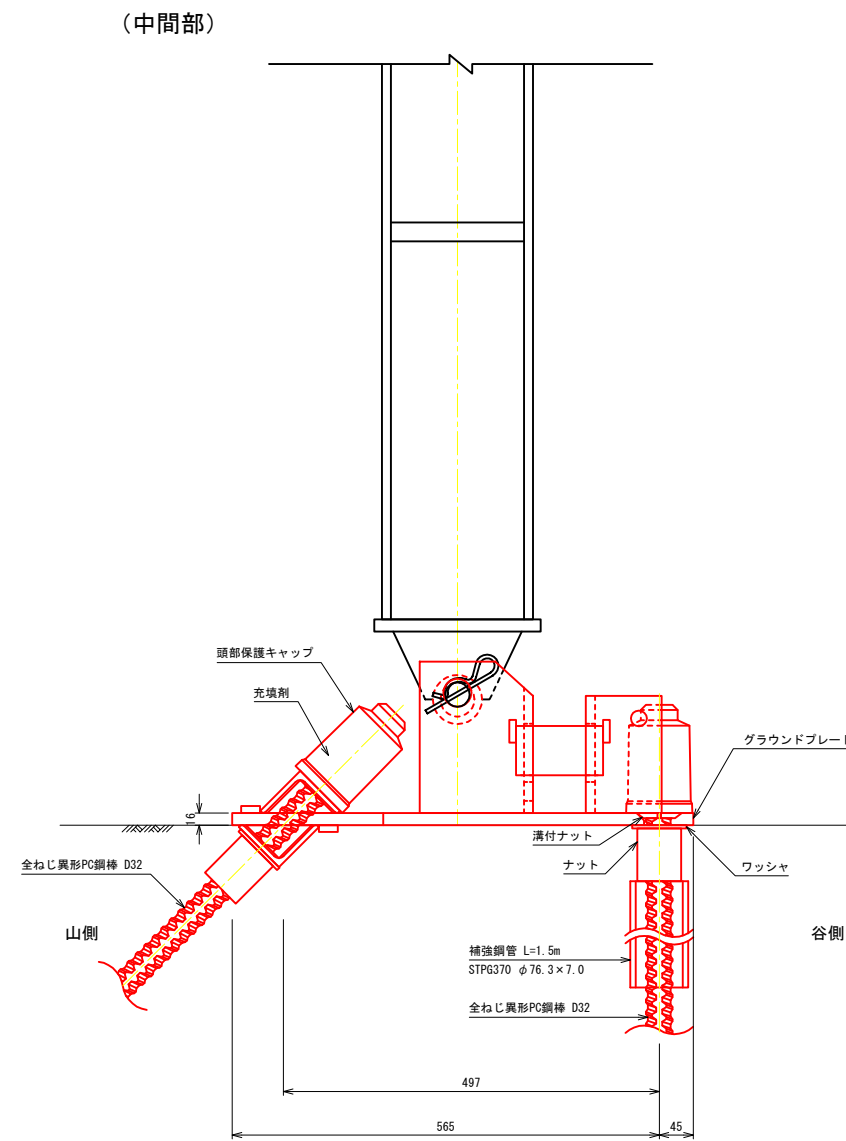
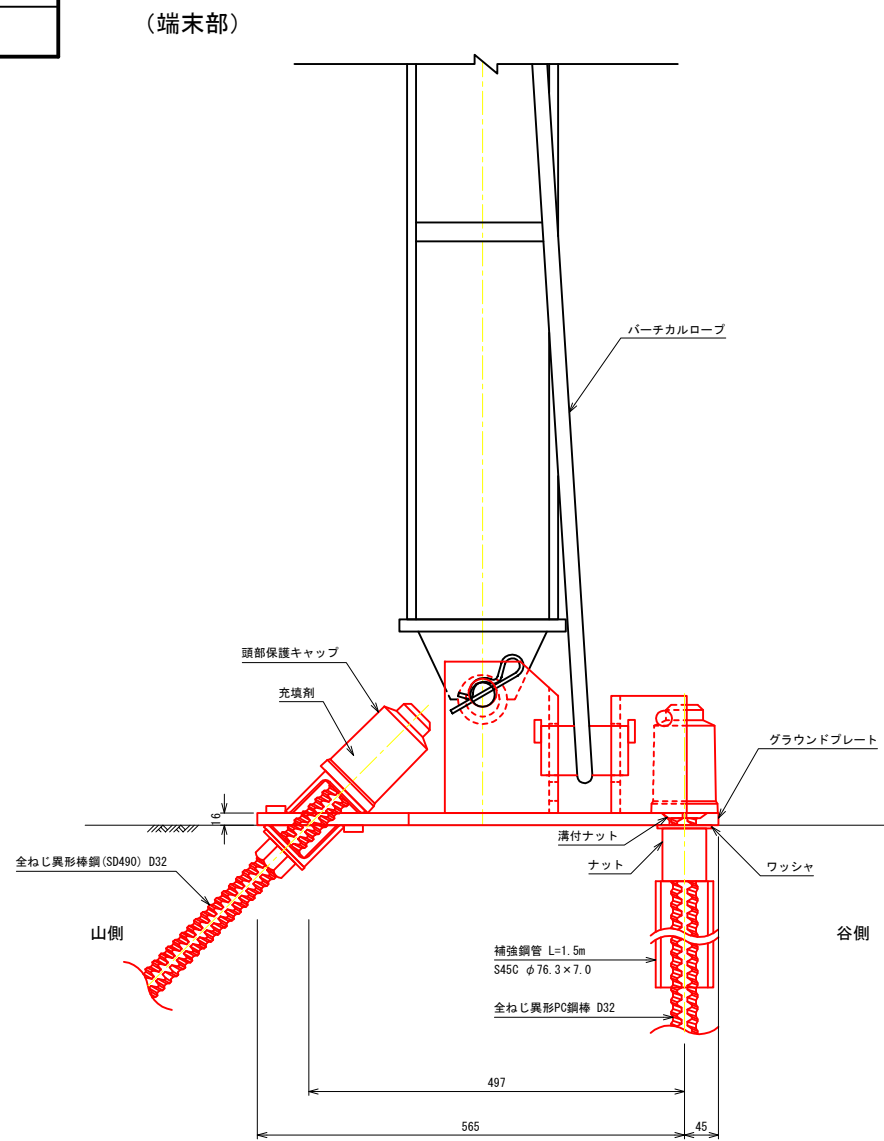
※3)  $t$  はシンプル使用。

- A: 上部サポートロープ
- B: 下部サポートロープ
- C: ラテラルロープ
- D: リテイニングロープ
- E: パーチカルロープ
- F: ダウンスロープリテイニングロープ

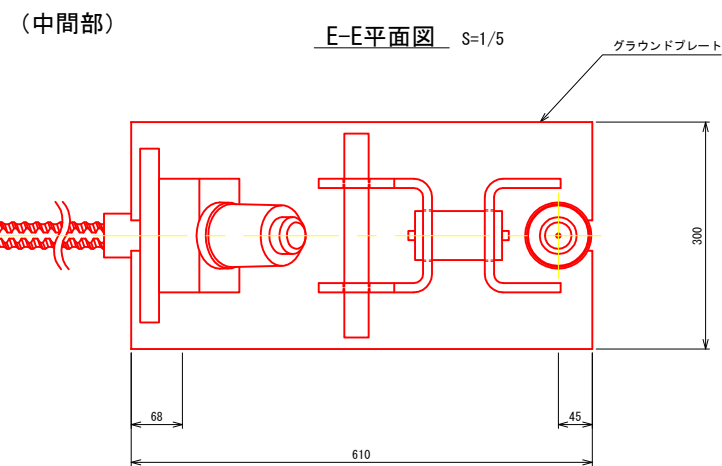
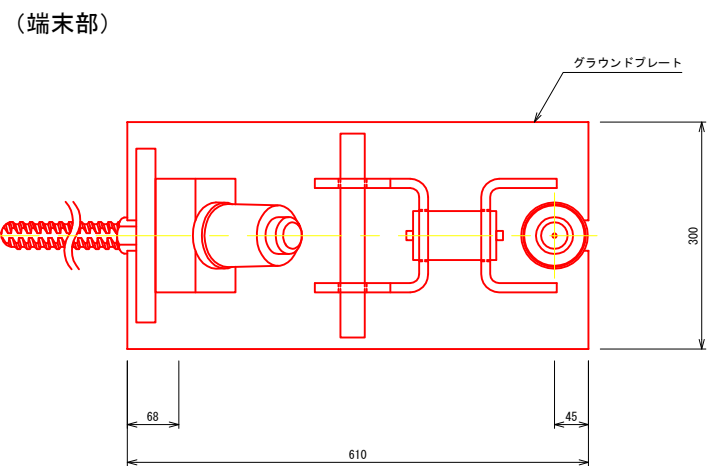
図面番号	6/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	ネット系待受工(3)詳細図	番号	3/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

ネット系待受工(3) 詳細図(2/5)

D部詳細図 S=1/5



E-E平面図 S=1/5

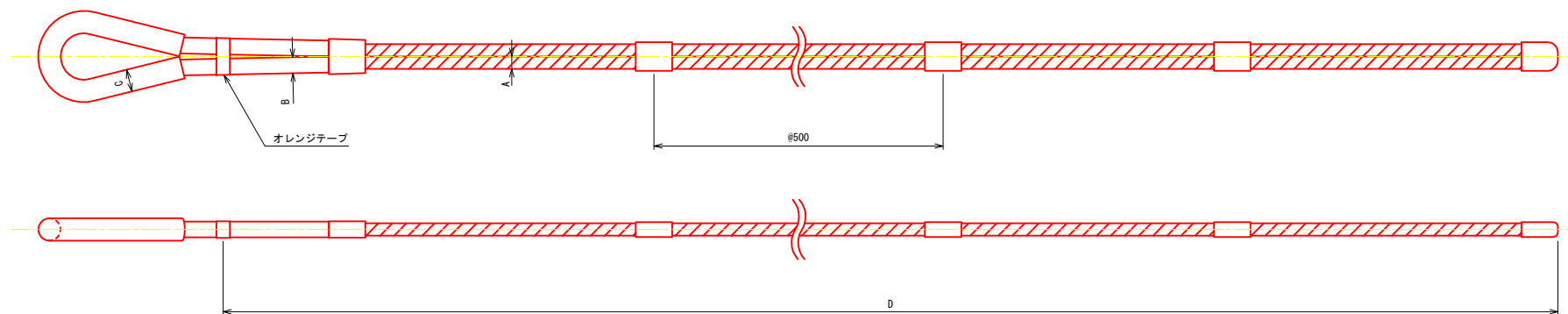


図面番号	7/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	ネット系待受工(3)詳細図	番号	4/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

## インパクトバリア 詳細図(4)

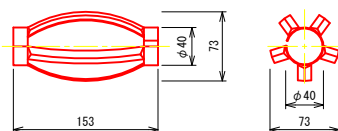
### ③柵

ワイヤロープアンカー

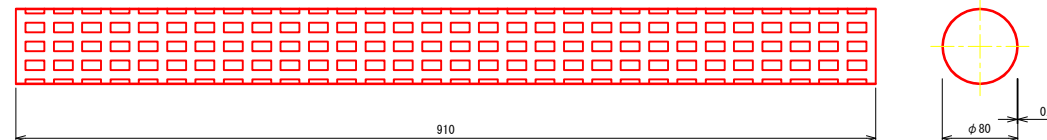


アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1, P10	22.5	32	42.4	4.5
下部サポートロープアンカー	P1, P10	22.5	32	42.4	4.0
端末部リテイニングロープアンカー	R1, R10	18.5	25	33.7	3.5
中間部リテイニングロープアンカー	R2~R9	22.5	32	42.4	5.0
ダウンスロープアンカー	P5	10.5	14	21.3	3.0
増設アンカー	P3~P4	22.5	32	42.4	5.5

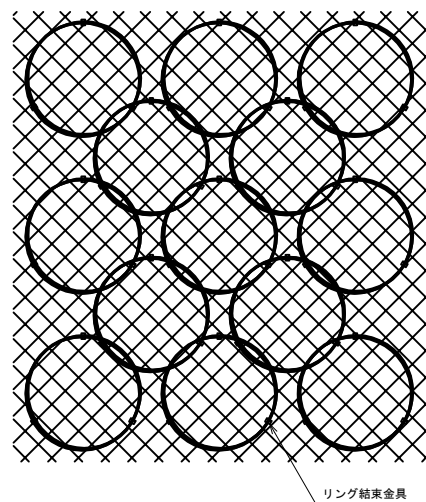
スペーサー S=1/4



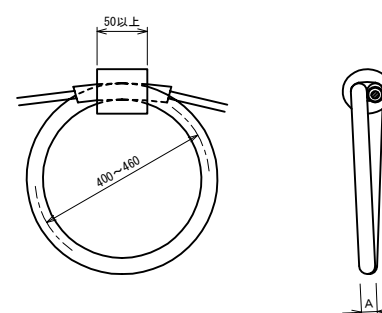
孔壁保護管 S=1/4



リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



ブレーキリング S=1/10



ブレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8001	φ16~18	34.0
GS-8002	φ20~22	42.7
GN-9017	φ622	42.4

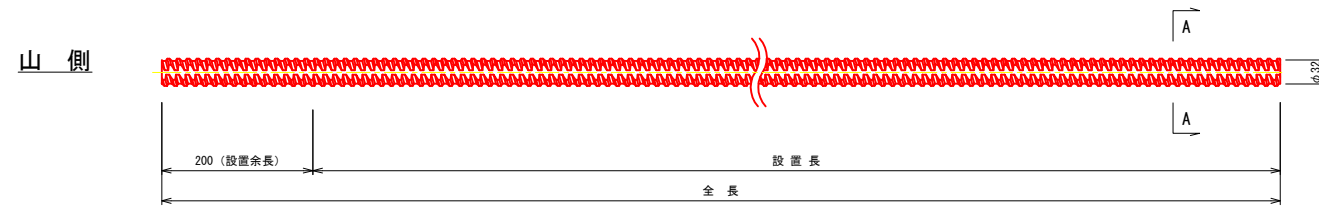
ネット形式	ROCCO 19/3/300
-------	----------------

ワイヤメッシュ φ2.4×50  
 ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm (接続箇所数: 8ヶ所/m)  
 凡例 ネット形式  
 ROCCO 19 / 3 / 300  
 径  
 線径  
 巻数

図面番号	8/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策工事		
種別	ネット系待受工(3)詳細図	番号	5/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

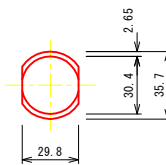
ネット系待受工(3) 詳細図(5/5)

全ねじ異形棒鋼 (SD490) S=1/5

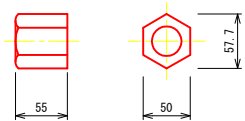


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
端末支柱部	P1, P11	0.2	3.5	3.7

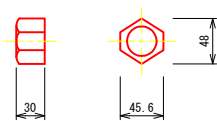
A-A断面図 S=1/2



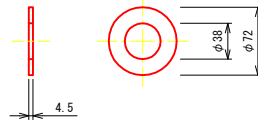
ナット (上部) S=1/4  
(亜鉛めっき品)



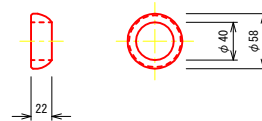
ナット (下部) S=1/4  
(亜鉛めっき品)



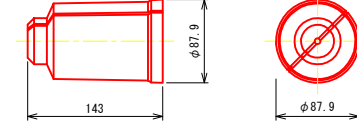
ワッシャ S=1/4



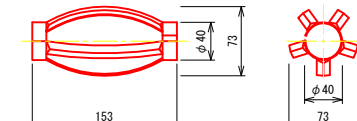
球面ワッシャ S=1/4  
(亜鉛めっき品)  
谷側



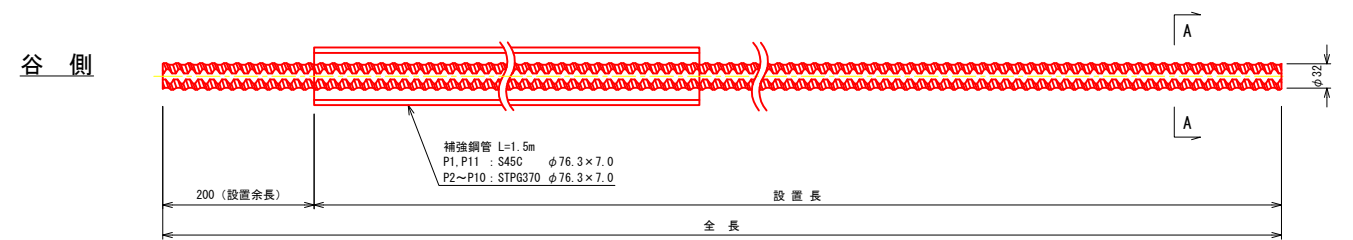
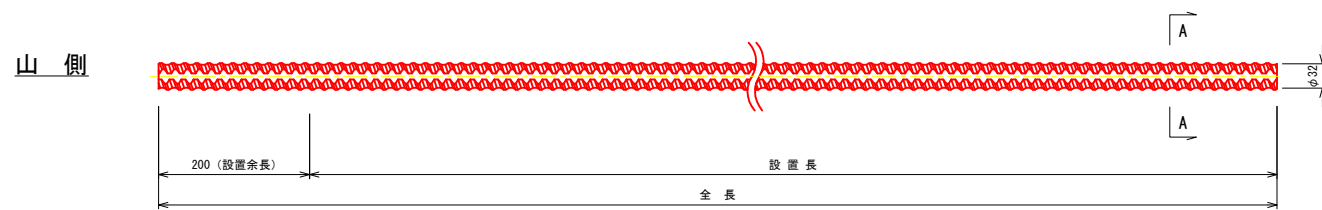
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



全ねじ異形PC鋼棒 S=1/5

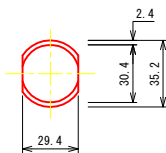


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
中間支柱部	P2, P3	0.2	7.0	7.2
	P4, P5	0.2	7.5	7.7
	P6~P10	0.2	7.0	7.2

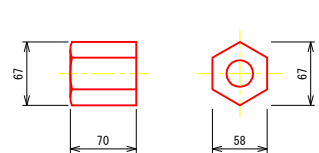
区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
端末支柱部	P1, P11	0.2	6.0	6.2

区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
中間支柱部	P2~P10	0.2	5.5	5.7

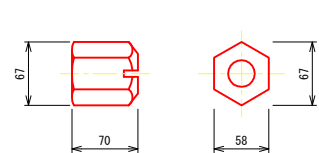
A-A断面図 S=1/2



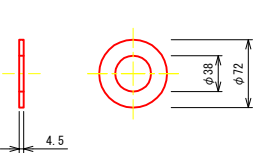
ナット S=1/4



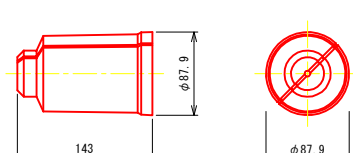
溝付きナット S=1/4



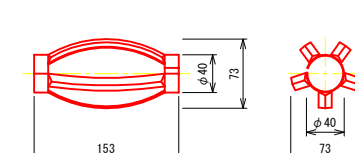
ワッシャ S=1/4



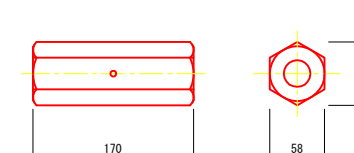
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



カプラー S=1/4



# 位置図

工事箇所

